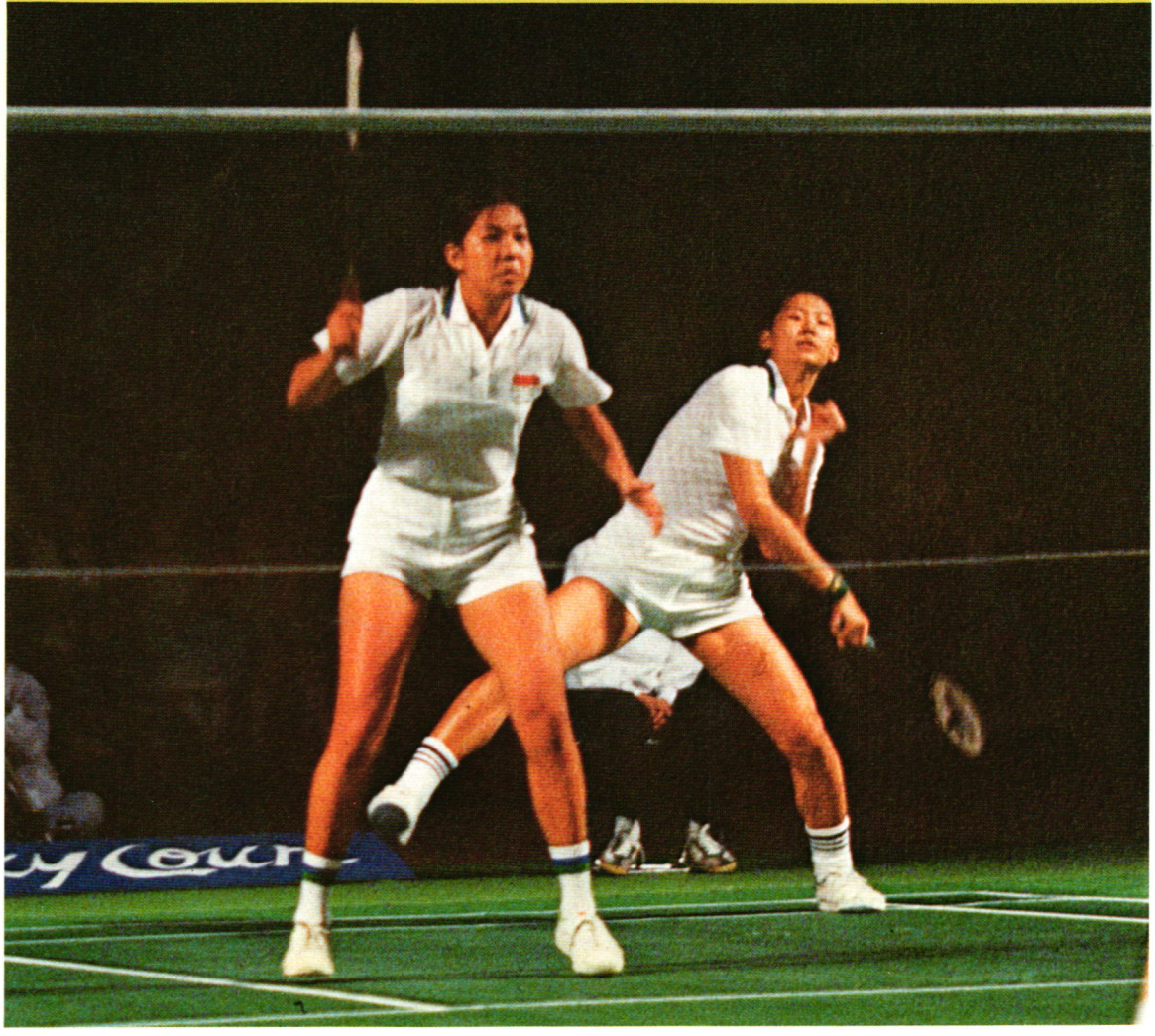
昭和56年７月15日発行（毎月１回15日発行・通巻第141号）　昭和55年10月９日第三種郵便物認可

バドミントン

7

The Badminton World No. 141　1981



The Badminton Association of England presents the

ALL ENGLAND CHAMPIONSHIPS

Wembley Arena 25th—29th MARCH 1981



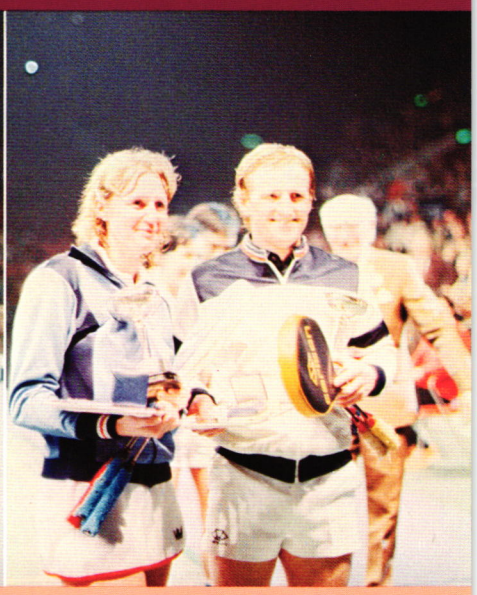
●女子ダブルス優勝

Nora Perry
ノラ・ペリー（イングランド）
Jane Webster
ジェーン・ウェブスター（イングランド）



●男子ダブルス優勝

Kartono
カルトノ（インドネシア）
Heryanto
ハリヤント（インドネシア）



●混合ダブルス優勝

Nora Perry
ノラ・ペリー（イングランド）
Mike Tredgett
マイク・トレジェット（イングランド）

カールトン,全ダブルスを制覇!!

カールトンは'81全英選手権大会の全ダブルスを独占しました。しかも，ファイナリストのうち50%がカールトン・ラケットを使用，ここでも**特殊ステンレス・スチール・フレーム**の優秀性が見事に実証されました。



STAINLESS STEEL
ステンレス・スチール

カールトン3.7シリーズのフレームは，特殊ステンレス・スチールで作られています。独自に開発されたこのステンレス・スチールは，反撥力，耐久力，そしてスィートスポットの広さと全ての長所を備え，理想的な素材とされています。このタッグのついたカールトン3.7シリーズはあなたに最高のプレーを保証いたします。



New 3.7S
¥12,500
（ヘッドカバー付）
●フレーム：ステンレススチール●シャフト：カーボン(テーパー)●グリップサイズ：3½,3⅜

3.7X
¥10,500
（ヘッドカバー付）
●フレーム：ステンレススチール●シャフト：スチール(フラット)●グリップサイズ：3½,3⅜

3.7
¥9,800
（ヘッドカバー付）
●フレーム：ステンレススチール●シャフト：スチール(テーパー)●グリップサイズ：3½,3⅜

carlton
That's the name of the game

総輸入元　メトロレジャー株式会社　〒101 東京都千代田区外神田5-6-4 TEL.(03)833-3661㈹



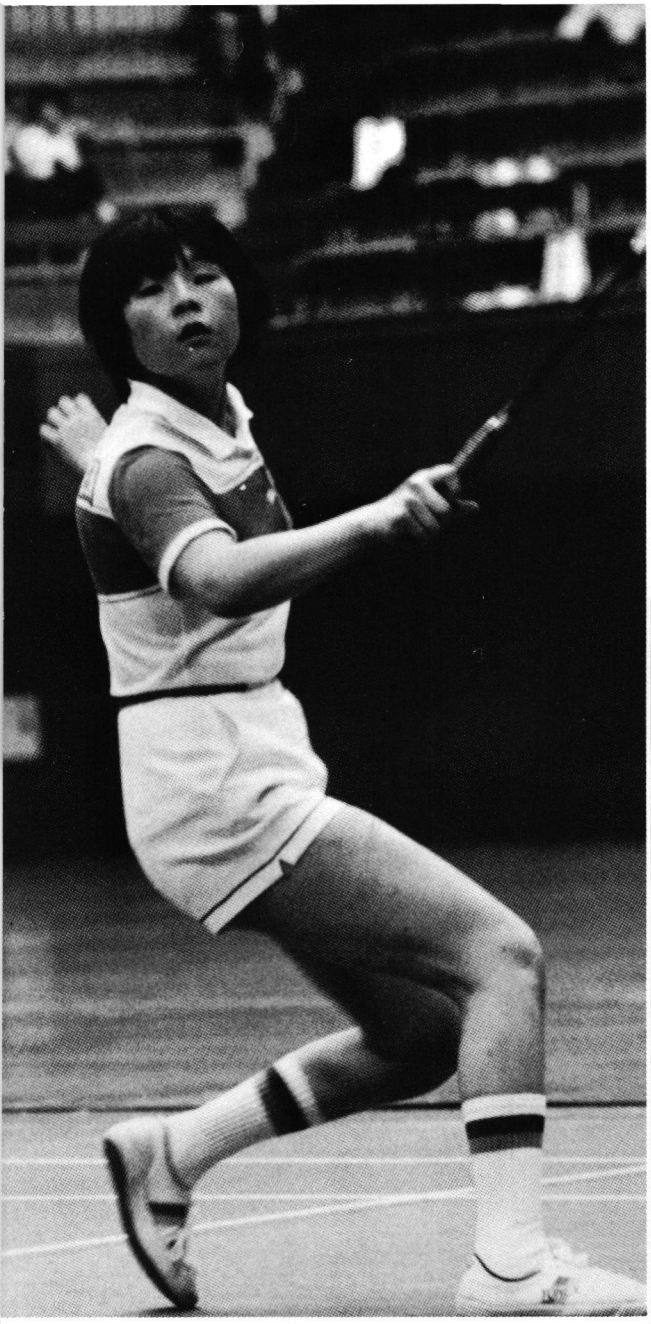
男子団体優勝の東奥義塾（青森）

青森勢強し

東北高校選手権

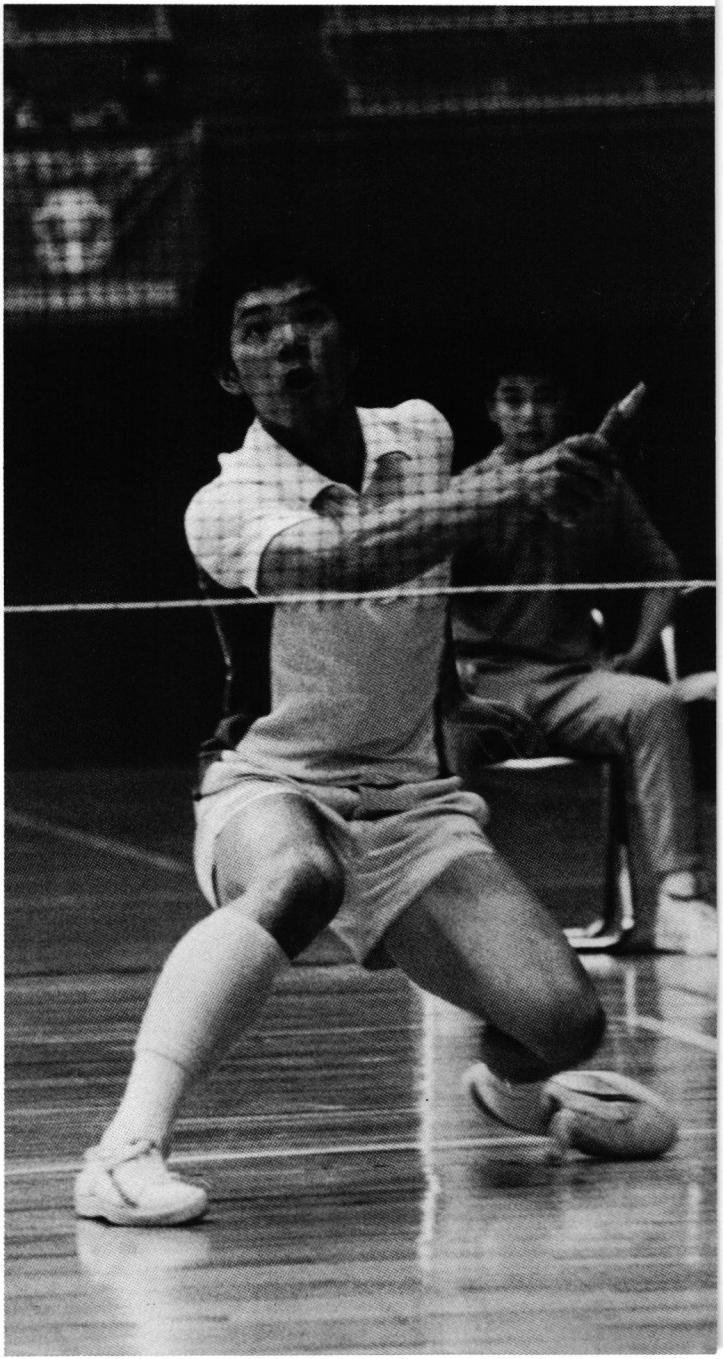
女子団体優勝の聖愛高（青森）





基本に忠実なプレーに終始した橋本（千葉学園）

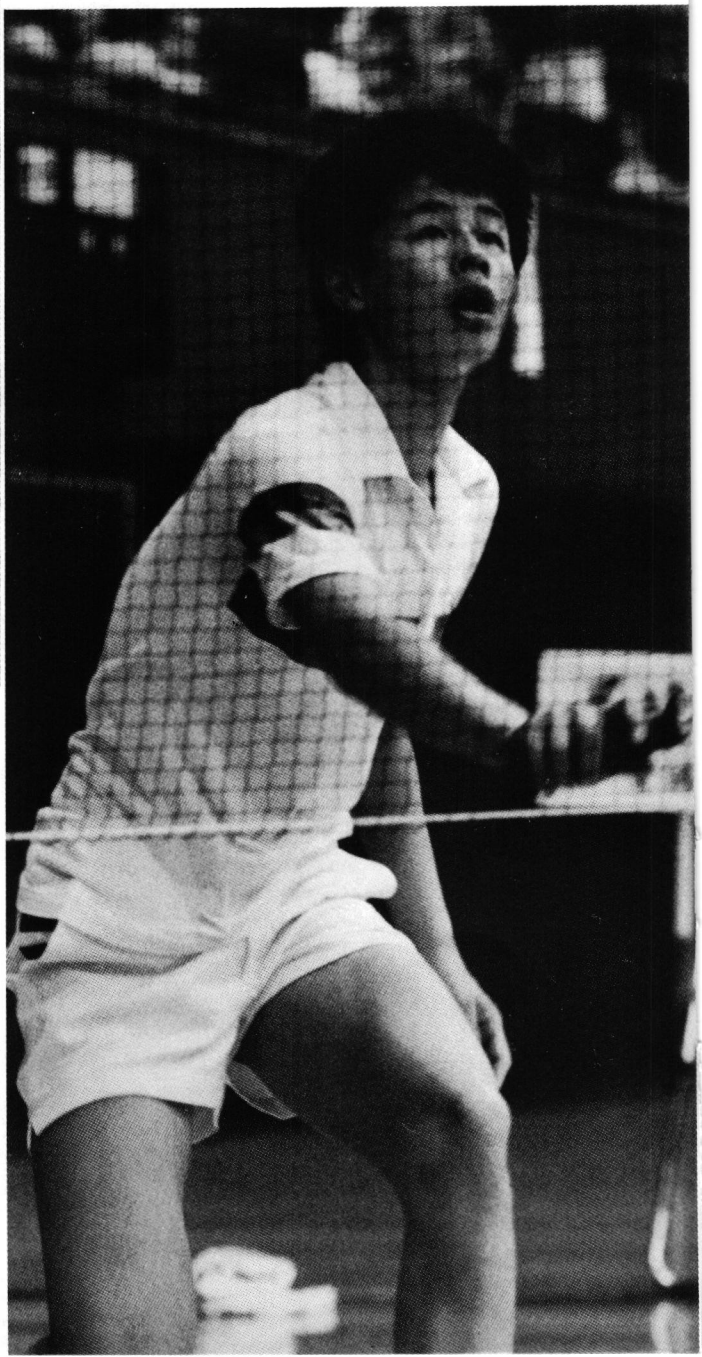
粘りが身上の乳井（弘前実）





スランプでも２位の座は守った小池（千葉学園）

久びさの〝名門山形商の星〟早坂



勝利へひた走る
鮮烈のプロショップ

ラケットショップ元町®

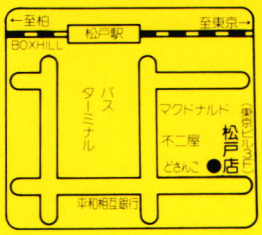
ご要望があればどこへでも、
最高のスタッフが……!!

とんで! まわって!
コーチして!!

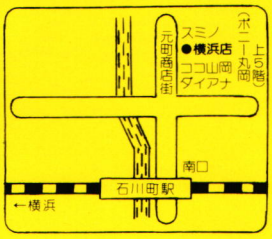
無料巡回コーチング・サービス



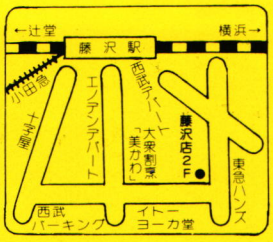
®



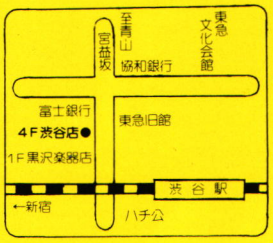
●松戸店
☎0473-64-6564
バドミントン・プロショップ



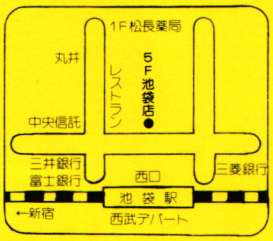
●横浜店
☎045-662-7133
バドミントン・フロア
☎045-662-9852
テニス・フロア
☎045-621-9205
☎045-621-9207
☎045-621-9208



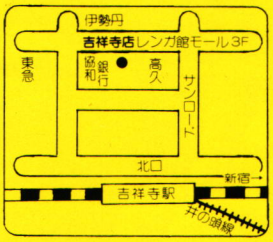
●藤沢店
☎0466-26-2552
テニス・バドミントン



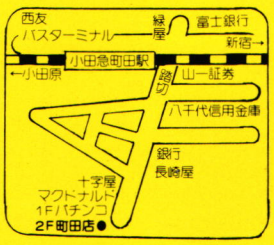
●渋谷店
☎03-3400-7390
バドミントン・プロショップ



●池袋店
☎03-3981-0215
バドミントン・プロショップ



●吉祥寺店
☎0422-21-7890
バドミントン・プロショップ



●町田店
☎042-728-6050
バドミントン・プロショップ

バドミントン界 7

❶ グラフ 東北高等学校選手権	㉙ 関東学生ほか 各地の記録
❻ ＩＢＦ年次総会 寿命伸びる羽根打ちサービス	㉞ 葦原健身 ユ杯防衛は成功したが
❽ 第24回全日本社会人 土田、４年ぶり２度目	㊳ 四谷健二郎 メディカル・アドバイス
❿ 第24回全日本社会人 湯木、鮮やかに復活〝８度目〟	㊵ インターハイ組み合わせ
⓬ 東北高校選手権 地元青森が独占	㊸ ＩＢＦがランキング発表 １位はハルトノ、黄善愛
⓰ 飯野佳孝 テクニックを盗め	
⓲ 青森県千葉学園・佐藤正明監督 名門校とその名物監督	おわび 銭谷欽治「チャンピオンをめざせ」は 筆者カゼのため今月はお休みさせていただきます

◇表紙デザイン・構成，本文カット＝野間デザイン室，長谷部憲和

◇今月の表紙＝第９回ユーバー杯大会でダブルス唯一の全勝ペア，ベラワティ・ダマヤンティ組（インドネシア）

IBF年次総会で

寿命伸びる！

"羽根打ちサービス"

バドミントン競技そのものをつまらなくし、ついには亡ぼしてしまう〝まやかし〟だというヨーロッパの伝統的勢力と、いや、これこそ技術革新で、バドミントンに新しい命を吹き込むものだと主張するアジア新興勢力の間で物議をかもしていた、羽根打ちサーブ（リバース・スピン・サーブ）に対する禁止条項の新設が、5月28日のIBF（国際バドミントン連盟）年次総会（東京・京王プラザホテル）で討議された。

デンマーク代表のトム・バッカー氏は、

「すでにデンマーク・バドミントン協会から全会員に回付されている修正案に、さらに語句の修正を加え、次のように提案したい」と述べた。

すなわち、左記の競技規則の新設したいというものである。

『次の場合はフォルトである。サービスのさいに、

(1)ベース（コルクの部分）がフェザー（羽根の部分）より低くなるようにシャトルを構えず、その後サーバーによって落とされ、そして、

(2)フェザーを打つことなく、シャトルのベースを打たなかった場合』

これに対して次のようにいろいろな意見が述べられた。

(a) いわゆる羽根打ちサーブはバドミントン競技の発展に、カツを入れる技術革新とみなすべきだ。

(b) 本来のディフェンスが不可能になってラリーをつづけることが妨げられてしまう。

(c) そのうちにこのサーブの返球方法をプレーヤーが見つけるだろう。

(d) バックハンドによる羽根打ちサーブのあとには、フォアハンドによる羽根打ちサーブが出てくるだろうし、もしそうなれば、手のほどこしようがない。

さらにいくつかの意見が述べられたが結論が出ず、もう一度理事会に付託してはどうか、という案が出された。

しかし、理事会を代表して、コスコットランドのクレイグ・リーディー氏は、

「理事会は、デンマーク案に賛成する」と述べ、いよいよ採決となった。

その結果、デンマーク案（羽根打ちサーブの禁止）に賛成51票、反対35票と、禁止派が上回ったものの、新規則の設立に必要な三分の二に達しなかったため、このデンマーク案は採択されなかった。

これに関連し、オーストラリア代表のバクスター氏から、

「〝故意〟にシャトルを妨害した場合は、第14条によりフォルトとする」という提案が出された。

しかし〝故意に〟というのは審判には困難な問題であり、この表現は十分ではないという意見も出された。

またデンマークを代表してトム・バッカー氏がオーストラリア案を支持した。

そして、バクスター氏の要請により採決となったが、11対65で否決された。

一九七九年初めに来日した、中国の劉霞、張愛鈴は、

「私たちの国の湯仙虎さんは、シャトルを逆に持って、鋭く変化するサーブを打ちます。ダブルスではノータッチさせられることもよくあります」

といっていた。その時はこの〝湯(タン)サーブ〟は、いったいどんな飛び方をするのかと、興味をひいた程度で、中国の若手プレーヤーが湯仙虎をまねて打ち出す〝変化サーブ〟もそれほど驚異的なものではなかった。

同年5月の第11回トマス杯大会で、インドネシアのルイス・ポンゴが典型的な羽根打ちサーブを打ち、つづいてマレーシアのシデク兄弟が、地元では〝Sサーブ〟あるいは〝シデク・サーブ〟と呼ばれる、非常に変化の鋭い羽根打ちサーブを繰り出すようになった。

デンマークのテクニシャン、フレミング・デルクスが空振りをしたり、リム・スイ・キンが土壇場際まで追いつめられるなどの、すばらしい効果が認められるようになると、アジア各国の選手は盛んにこれを使うようになってきた。

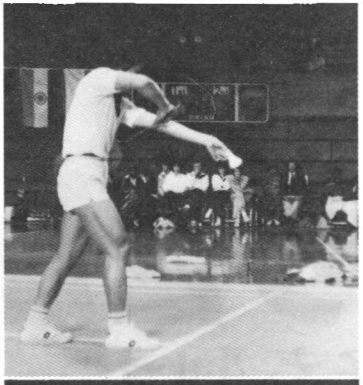
その一方で、ヨーロッパを中心とする〝伝統的〟な国々、協会からは、禁止を求める声が強く起こってきたのである。

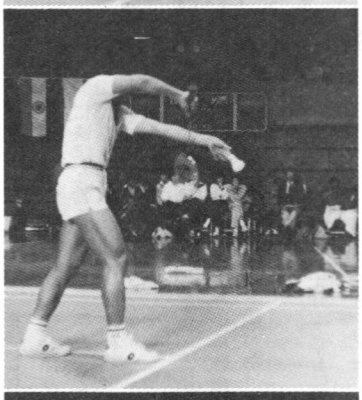
しかし、その足もとのプレーヤー・レベルでは、このサーブをとり入れる傾向も強くなってきた。レイ・スティブンス、ジェーン・ウェブスターらのイギリス選手である。

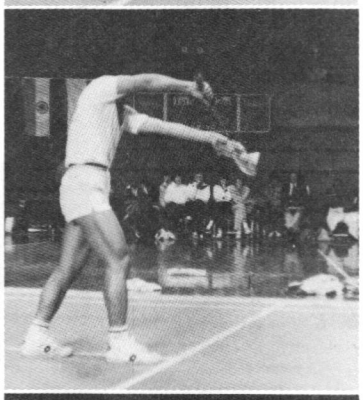
日本でも、トマス杯を見学して帰国した日体大の選手からアッという間に広がり、いまや高校生の多くはこのサーブを打てるようになっている。

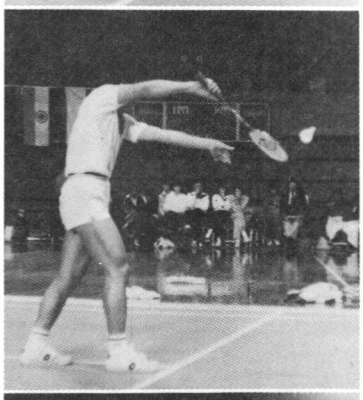
ベースの軽重、フェザーの開き具合など、他力的な要素でサーバー自身も予測できないこの羽根打ちサーブは、とりあえず今後も使用可能となった。

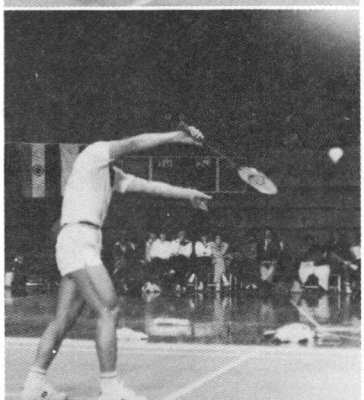
これからも〝羽根打ちサーブ禁止〟を求める声は出ると思われるが、現実的な問題として、このサーブに対するレシーブ方法の研究が急務となったのはまぎれもない事実である。











※新会長にリーディー氏

一九七八年以来二つに分裂していたバドミントンの国際組織が、ついに一つに統合された。

IBF（国際バドミントン連盟）の代表者は、5月26日東京の京王プラザホテルで会談し、統合に調印した。

そして、5月28日のIBF年次総会には、旧WBFのメンバーも出席し、真の〝国際〟連盟として出発したわけである。

その席上、ステラン・モーリン会長は次のように述べた。

「WBFの設立や統一交渉で通常二年の任期が延びていたが、バドミントン会が再び統一された現在、トップの交代が望ましいと思う。そして、一九八一年八月一日以降の会長に、クレイグ・リーディー氏を推せんしたい」

満場一致で承認されたあと、指名されたクレイグ・リーディー氏（スコットランド）は、

「指名をお受けするにあたって、バドミントン界の将来に大きな貢献をしたモーリン氏を、名誉終身副会長に推すことを提案したい」と述べ、これも満場一致で承認された。

これにより、中国をもまじえた新IBFは、リーディー氏のもと活動していくこととなった。

※選手代表も決まる

一九八二年の年次総会までの間、IBFオープン・バドミントン委員会にプレーヤーの利益代表として参加するのは、次の三名に決まった。オープン化もますます進み、世界が一つに統合されたことにより、大手のスポンサーがつくことも考えられ、この三人の役割は大きい。

トーマス・キールストローム（スウェーデン）、ステーン・スコブガード（デンマーク）、ノラ・ペリー（イングランド）

四年ぶり2度目
土田が二冠を制す

第24回全日本社会人バドミントン選手権大会は、7月3日から6日まで登別市において開催された。

男子とも、トッププレーヤーの欠場が多くやや寂しい顔ぶれとなったが、女子シングルスで湯木（カワサキ）が2年ぶり8度目の王座へ返り咲き話題を独占した。

また男子シングルスでは、準決勝で長谷川（ヨネックス）、決勝で米（高岡市役所）を降した土田（電電東京）が、久し振りに快調な動きをみせ4年ぶり2度目の優勝に輝き、男子ダブルスも制して二冠。

女子ダブルスは、米倉・三田組（電電東京）がなみいる強豪ペアを抑えて初優勝を飾った。

男子は、銭谷、中井（ともにカワサキ）、飯野といったトッププレーヤーが欠場して、盛り上がりに欠ける内容となってしまった。

一般シングルスは、長谷川（ヨネックス）と土田の二人に絞られた格好だったが、昨年2敗を喫した土田が雪辱、小気味のよい速攻が息を吹きかえし、ようやくスランプから立ち直った。

この二人に、どのくらい迫るか注目された米（高岡市役所）は、決勝の第2ゲーム、土田にあと一歩と詰め寄ったが、日本リーグの再現はならなかった。

しかし、米の最近の充実ぶりは目を見張るものがある。

かならずといっていいほど、位に顔を出し、切れ味のあるショットはないのだが、ミスをしない集中力、絶対に諦めない粘りは驚異。

速い攻撃がない反面、一度食らいついたら離れない、相手にとっては一番イヤなタイプに違いない。

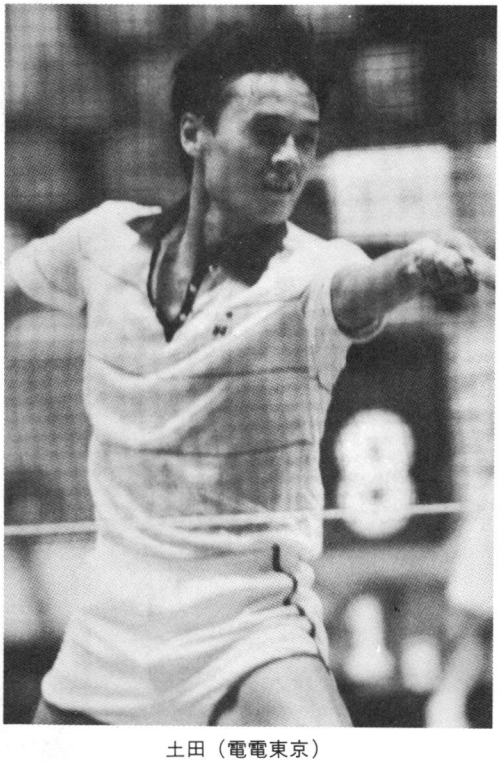
先輩の高岡市役所・今泉選手の話によると「とにかくバドミントンが好きで、練習の虫。毎日、市役所の練習がなくても、地元の高校へ行ったり、練習をしない日がないくらい。マジメな市役所の中でも、特にマジメ。あれだけ努力しているのだから、脚光を浴びないはずがない。本当にプレーヤーの鏡だ」ということ。これ以上はない、最大級の賛辞がポンポンと出てくる。

また、一般ダブルスでも遠藤・池田組が2位に食い込んだが、これも自他ともに認める〝練習好き〟。

二人は、米同様、大学時代の成績に特筆すべきものはないが、社会人となってから地道な努力が実を結んで、上位進出も決してフロックではない。

遠藤は母校（青山学院大）のコーチをしながら練習場を渡り歩き、池田も毎日10キロを走るのが日課と聞く。

「努力をすれば、いつかは報われる」を実証した米、遠藤、池田が、二冠を制した土田とともに、今大会男子の立て役者といっても過言ではあるまい。



土田（電電東京）

▼一般男子シングルス準々決勝

今井（群馬）	2	15	15	10		
松井（高知）	1	6	2	15		
米（富山）	2	18	15	7		
鈴木（新潟）	1	14	4	15		

第24回全日本社会人・登別市

不振脱出、土田は

宮森とコンビ、

▼同準決勝

長谷川（東京）2 15-12 15-12 0 米沢（富山）

土田（東京）2 15-1 15-10 11-15 1 宮崎（大阪）

▼同準決勝

米 2 15-8 18-14 0 今井

土田 2 15-11 15-3 0 長谷川

▼同決勝

土田 2 17-16 15-4 0 米

▼一般男子ダブルス準々決勝

長谷川 辻 2 15-4 15-6 0 宮林 米（富山）

遠藤 池田（東京）2 15-10 10-15 17-14 1 宮崎 森下（大阪）

土田 宮森（東京）2 15-8 15-3 0 関村 牧野（富山）

池田 尾崎（東京）2 15-3 15-11 0 秋庭 丸山（山形）

▼同準決勝

遠藤 池田 2 棄権 0 長谷川 辻

土田 宮森 2 15-3 18-15 0 池田 尾崎

▼同決勝

土田 宮森 2 15-0 15-4 0 遠藤 池田

▼30歳以上シングルス準決勝

芳上（岡山）2 棄権 0 杉田（神奈川）

菊地（宮城）2 棄権 0 鈴木（神奈川）

▼同決勝

芳上 2 15-9 7-15 15-8 1 菊地

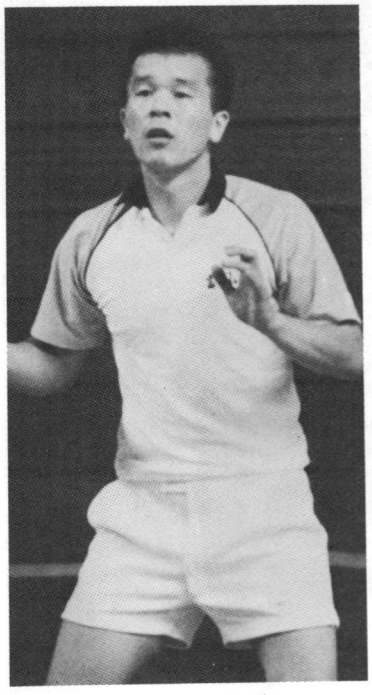
▼30歳以上ダブルス準決勝

藤原 芳上（岡山）2 15-4 18-13 0 山本 山田（北海道）

矢仲（福島）2 15-6 15-10 13-18 1 赤塚 岡本（北海道）

▼同決勝

藤原 芳上 2 15-3 15-8 0 井伊 矢仲



米（高岡市役所）

▼40歳以上シングルス準決勝

星野（島根）2 17-14 12-15 15-7 1 小山（神奈川）

百瀬（長野）2 15-10 13-11 2-15 1 高橋（神奈川）

▼同決勝

星野 2 15-8 18-15 0 百瀬

▼40歳以上ダブルス準決勝

中田 七沢 2 15-1 15-9 11-15 1 馬城 引地（熊本）

小山 高橋 2 15-3 15-9 0 藤原 山本（香川・高知）

▼同決勝

小山 高橋 2 15-6 15-4 0 中田 七沢

▼50歳以上シングルス準決勝

柳田（東京）2 15-6 15-4 0 中島（長崎）

浜中（愛媛）2 15-11 15-9 0 曽根（京都）

▼同決勝

浜中 2 15-8 15-5 9-15 1 柳田

▼50歳以上ダブルス準決勝

柳田 斉藤（東京）2 15-5 17-18 15-8 1 紀田 岡井（京都）

尾崎 浜中（香川・愛媛）2 18-17 10-15 15-4 1 曽根 金田（京都）

▼同決勝

尾崎 浜中 2 15-11 6-15 15-11 1 柳田 斉藤

"8度目"の偉業
が初優勝を飾る

〝女王・湯木〟に笑顔が戻った。ユーバー杯直後の大会とあってか、ユ杯防衛メンバーの主力、徳田、近藤、高田のいない歯の抜けたような大会になったが、その穴を埋めたのはやはり〝女王〟だった。

「燃えない湯木」とささやかれる最近の不振を吹き飛ばすかのように、実に貫録のあるプレーぶりで、2年ぶり8度目の優勝を飾った。

湯木にしてみれば、ユーバー杯チームに漏れ、随分口惜しい思いをしたことだろうが、そんな雑念を感じさせない冷静沈着なプレースメントは、年齢を感じさせないだけでなく、味わい深いものがあった。

攻撃、速さといったものを、クリアー、カットの〝芸術品〟ともいえる正確さでカバー、その持てる力を十二分に発揮するテクニックは湯木ならではのもの。

まるで不死鳥のように、鮮やかに甦った〝女王〟だった。

湯木の活躍の前に、陰に隠れてしまった格好のユ杯メンバーは、米倉、東海林、大塚がベスト4へ食い込み面目を保ったが、湯木一人にしてやられたといったところ。

ダブルスは、米倉・三田組が初優勝。

昨年も、実業団では大活躍していたが、ようやくコンビネーションがよくなり、持ち前の攻撃力を生かせるようになったのが最大の勝因か。

米倉のリードに応えるようになった、社会人3年生・三田の成長が何よりも大きい。

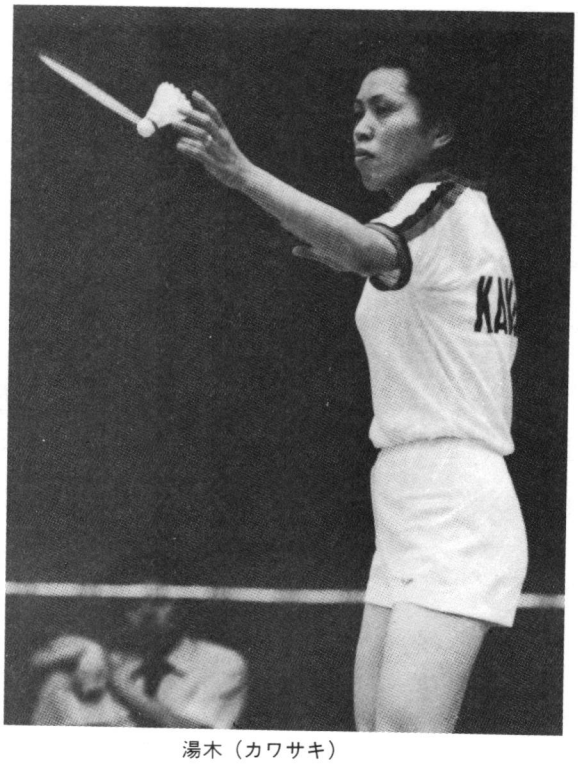
大学出身者が多い中で、高校から直接、社会人チームに入ってもまれ続けた成果が、ここに実を結んだといえる。

大学が弱体化しつつある現在、〝高校から社会人〟へという現象は、三田の成功によってもっと増え続けるかも知れない。

また、準決勝で米倉組に惜敗した河村・平組も、賞讃に値いする活躍だった。

例によって、小さな体をいっぱいに使って打ち、懸命に走りまくる姿はいかにも印象的。

米倉組に対し、第1・第2ゲームともセッティングに持ち込むなど、敗れたとはいえ〝北の地〟に河村・平組の名を残す健闘ぶりだった。


湯木（カワサキ）

▼一般女子シングルス準々決勝

大塚 2 (11—2, 11—2) 0 加塩（東京）（愛知）

東海林 2 (11—3, 11—2) 0 河村（大阪）（大阪）

湯木 2 (11—4, 11—2) 0 原口（東京）（大阪）

米倉 2 (11—0, 11—3) 0 谷（東京）（滋賀）

▼同準決勝

東海林 2 (11—8, 11—3) 0 大塚

湯木 2 (12—11, 11—6) 0 米倉

▼同決勝

湯木 2 (3—11, 11—8, 11—8) 1 東海林

第24回全日本社会人・登別市

湯木、鮮やかに復活

複は米倉・三田組

▼一般女子ダブルス準々決勝

渡辺 原田 2 (東京) 15-6 15-1 4-15 1 葛西 磯野 (大阪)

東海林 高峯 2 (大阪) 15-5 15-9 0 梅野尾 月岡 (東京)

関根 谷 (東京・滋賀) 15-5 15-8 9-15 1 湯木 高岸 (東京)

米倉 三田 2 (東京) 17-14 18-14 0 平 河村 (大阪)

▼同準決勝

東海林 高峯 2 15-12 15-12 渡辺 原田 (東京)

米倉 三田 2 15-12 15-11 関根 谷

▼同決勝

米倉 三田 2 15-3 15-6 東海林 高峯

▼30歳以上ダブルス準決勝

森本 田中 2 (東京) 15-9 18-14 0 片桐 渡辺 (北海道)

金子 金浜 2 (北海道) 15-8 15-7 0 福住 稲吉 (東京)

▼同決勝

森本 田中 2 15-4 15-1 0 金子 金浜

▼40歳以上ダブルス準決勝

島中 山口 2 15-12 18-13 0 荒川 的場 (東京)

白倉 水口 2 (東京) 15-4 15-11 0 竹内 根岸 (東京)

▼同決勝

島中 山口 2 15-11 15-9 0 白倉 水口

▼混合ダブルス準々決勝

梅野尾 梅野尾 2 (東京) 15-11 15-9 0 須藤 桑原 (青森)

▼同準決勝

梅野尾 梅野尾 2 15-11 15-7 0 鈴木 平野

宮森 三田 2 18-14 18-13 0 西村 谷

▼同決勝

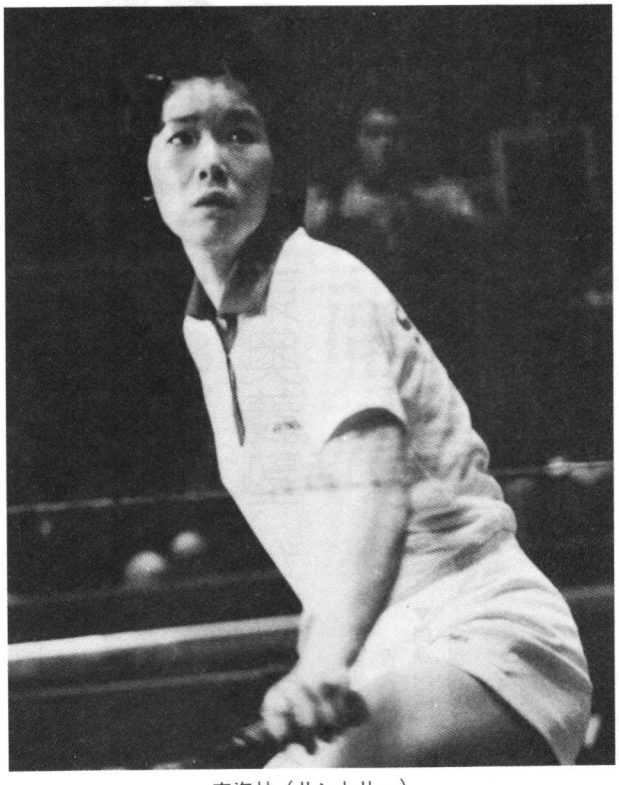
梅野尾 梅野尾 1

宮森 三田 2 15-10 15-12 5-15 1 梅野尾 梅野尾

鈴木 平野 2 (新湯) 15-6 15-7 10-15 1 工藤 大嶌 (栃木)

宮森 三田 2 (東京) 15-6 15-9 0 管 田中 (神奈川)

西村 谷 2 (滋賀) 15-7 15-11 0 村上 渡辺 (岩手)



東海林（サントリー）

昭和28年度東北高等学校バドミントン選手権大会

地元青森が全種目独占

団体は男子・東奥義塾、女子聖愛高

昭和56年度の東北高等学校バドミントン選手権大会は、6月25日から3日間、青森県・八戸市において開催された。

優勝は、各種目に高いレベルを示す地元青森が独占、男子団体は東奥義塾、女子団体は聖愛高が〝東北一〟となった。

男子シングルスは、スタミナに優る乳井が（弘前実）、同ダブルスは勝負強さを発揮した佐々木・葛西組（東奥義塾）が栄冠を獲得し、女子シングルスは橋本（千葉学園）が、同ダブルスにも小池と組んで優勝、二冠を制した

男子団体は、メンバー全員が平均した実力を持つ東奥義塾が、どこからでも得点できる強味を発揮して、順当に勝ち名のりを挙げた。

全国でも、チームのまと大会まりから見れば相当な健闘が期待できる。

個人的に見ると、男子シングルスで優勝した乳井は、体力を主体にした粘りに終始し、高校生らしいキビキビしたプレーは好感の持てるものだった。

技術的には特筆すべきものはないのだが、プレーに対するひたむきな姿勢がシャトルへの集中力となって現われていた。

2位となった早坂は、長身から角度のあるスマッシュを打って単複にベスト4入りを果たしたが、シングルスの決勝ではスタミナが切れてしまった。

せっかく切れのよい、ふところの深いショットを持っているだけに、もう一歩の体力と、フアイトを表情に出すぐらいのガッツが欲しいところ。

しかし、各門・山形商の久々の期待されるプレーヤーとして、サウスポーの2年生・鈴木を上手くリードすれば、単複に楽しみな存在といえる。

また、早坂組に準決勝で大逆転勝ちを収め、決勝でもなかなかの試合巧者ぶりを見せた佐々木・葛西組は、春の高校選抜3位の実績通り、要所要所でネット前へのダッシュが速く、何度もピンチを乗り越えて勝利をつかんだ。

この勝負強さはなかなか捨て難いものがある。

女子団体は、優勝候補の千葉学園を振り切って、聖愛高のものとなった。

千葉学園は、小池・橋本の両エースに次ぐプレーヤーの起用に苦しみ、粒の揃った聖愛高の軍門に下った。

しかし個人戦では、小池、橋本が圧倒的な強さを見せ上位を占め、団体戦での汚名を挽回した。

橋本は、これまで練習を含め1度も勝ったことのないという小池を破って栄冠を手中にしたが、クリアー主体の素直なプレーで急成長、マイペースの試合運びだった。

一方、敗れた小池は、高校選抜ベスト4の実力を持っているものの、団体戦での敗戦のショックが尾を引いた格好で自滅してしまった。

実力ナンバー1は自他ともに認めるところ、早く立ち直って欲しいものだ。

▼男子団体準々決勝

東奥義塾 2—0 宮城工業（青森）（宮城）

山形東東 2—1 横手工業（山形）（秋国）

仙台商業 2—1 弘前南高（宮城）（青森）

弘前実業 2—1 会津工業（青森）（福島）

▼同準決勝

東奥義塾 2—0 山形東高

佐々木 15—2 小関
高橋 2 15—6 1
15—13 峰田

葛西 2 15—7 0 竹村
弘前実業 17—15 2—0 仙台商業

中畑 17—16 江原
宇野 2 15—12 0 渡辺

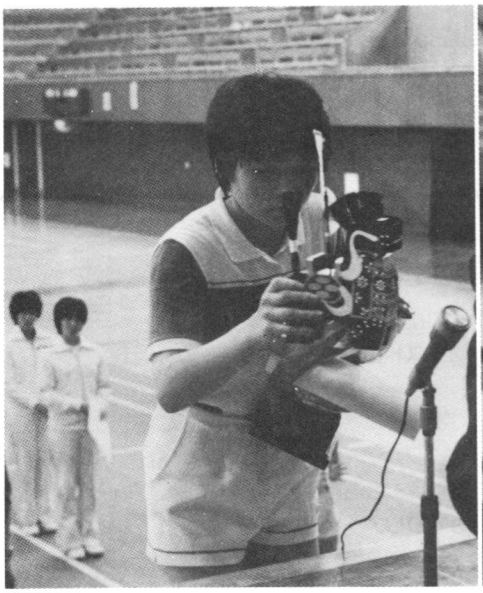
乳井 2 17—14 0 守
15—12

▼同決勝

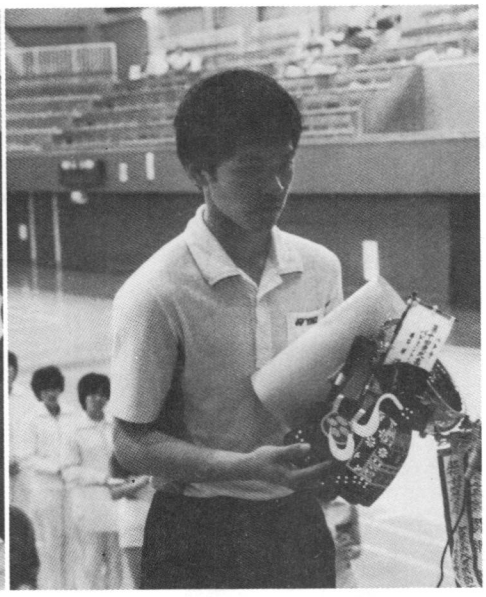
東奥義塾 2—1 弘前実業

佐々木 15—11 小林
高橋 2 15—8 0 福士

葛西 10—15 2 乳井
12—15 15—8 1
尾崎 15—5 中畑
兼坂 2 0 宇野



女子単優勝の橋本（千葉学園）



男子単優勝の乳井（弘前実）

▼男子シングルス準々決勝

尾崎（東奥義）2—1相沢（仙台一）

早坂（山形商）2—0葛西（東奥義）

柳谷（弘前南）2—0日戸（弘前工）

▼同準決勝

乳井（弘前実）2—1狩野（佐沼）

早坂 2 — 尾崎 1

15 15 — 9 12 — 0 柳谷

15 18 7 — 9 16 15 — 1 尾崎

▼同決勝

乳井 2 — 0 早坂

15 15 — 5 5 — 0 早坂

▼男子ダブルス準々決勝

早坂・鈴木（山形商）2—1江原・渡辺（仙台商）

佐々木・葛西（東奥義）2—1桶場・高橋（横手工）

柳谷・条田（弘前南）2—0岩渕・阿部（前沢）

小坂・高橋（東奥義）2—0原田・大高（二ツ井）

▼同準決勝

佐々木 葛西 2 — 1 早坂 鈴木

18 15 — 14 4 — 0 柳谷 条田

18 2 18 — 15 15 15 — 1 早坂 鈴木

▼同決勝

佐々木 葛西 2 — 柳谷 条田 0

15 15 — 9 9 — 0 小枝 高橋

18 15 — 14 4 — 0 柳谷 条田

▼女子団体準々決勝

千葉学園（青森）2—0黒石高校（青森）

▼同準決勝

新庄南（山形）2—1弘前実業（青森）

聖愛高校（青森）2—1秋田経大付（秋田）

聖ウルラ（宮城）2—0若松女子（福島）

▼同準決勝

千葉学園 2 — 0 新庄南

小池 川口 2 — 0 五十嵐 渡辺

橋本 2 — 0 滝沢

15 15 — 7 7 — 0 渡辺

11 11 — 0 0 — 0 滝沢

▼同決勝

聖愛高校 2—1聖ウルラ

工藤 横山 2 — 0 星 守谷

18 15 — 15 9 — 0 守谷

▼同準決勝

松岡 1 — 2 遊佐

8 12 9 — 11 10 12 — 2 遊佐

野村 成田 2 — 0 遊佐 高橋

15 15 — 3 3 — 0 高橋

▼同決勝

聖愛高校 2—1千葉学園

工藤 横山 2 — 0 北本 弓削

15 15 — 12 11 — 0 北本 弓削

松岡 0 — 2 橋本

1 1 — 11 11 — 2 橋本

野村 成田 2 — 1 小池 川口

15 15 10 — 13 6 15 — 1 小池 川口

▼女子シングルス準々決勝

橋本（千葉学）2—0遠藤（磐城女）

野村（聖愛）2—0小椋（若松女）

小池（千葉学）2—0秋山（鶴岡北）

木村（黒石）2—0星（聖ウル）

▼同準決勝

橋本 2 — 0 野村

11 11 — 3 1 — 0 野村

小池 2 — 1 木村

11 11 7 — 1 1 11 — 1 木村

▼同決勝

橋本 2 — 1 小池

11 9 11 — 4 11 3 — 1 小池

▼女子ダブルス準々決勝

小池・橋本（千葉学）2—0三浦・古木（国学館）

五十嵐・渡辺（新庄南）2—1工藤・横山（聖愛）

北本・弓削（千葉学）2—1川味・袴田（千葉学）

遠藤・根本（磐城女）2—0星・遊佐（聖ウル）

▼同準決勝

小池 橋本 2 — 0 五十嵐 渡辺

15 15 — 5 1 — 0 渡辺

15 15 — 4 1 — 0 弓削

▼同決勝

小池 橋本 2 — 北本 弓削 0

15 15 — 10 11 — 0 根本 遠藤

15 15 — 1 — 0 北本 弓削

出版案内

バドミントン界編集部

お申込みは巻末とじ込みの振替用紙で、お近くの郵便局からどうぞ

スターティング・バドミントン

バドミントン史上最強の天才女子プレーヤーが、その体験をもとに、初心者・中級者向けにわかりやすく、具体的に解説した入門書の決定版——!!



★著者紹介★

ジュディ・ハッシュマン（Judy Hashman）は、アメリカを代表して20年間も第一線で活躍したJ・F・デブリンの娘として生まれる。全英選手権において、シングルス優勝10回、ダブルス優勝7回をとげている。また、アメリカ代表選手として14年間活躍、全米オープンでは単複にそれぞれ12回も優勝している。

これから始める人へ

ジュディ・ハッシュマン著

後藤忠弘訳

すぐに役立つ決定版!!

好評発売中!!

指導者のハンドブック

B５変形判（182ミリ×205ミリ）

定価1200円（送料250円）

〈本書の内容〉

1　ラケットを持つ前に

バドミントンは楽しい／投げる力が基本／さあ、コートに出よう ほか

2　ストローク入門

ラケットの握り方／バックハンドのグリップ／スナップを十分にきかせる／ラケットの振り方／バックスイング／フォワード・スイング／フットワーク／ストロークを身につけるための練習／ネットプレーのための練習

3　クリアーとドロップ

クリアー／オーバーヘッドの場合／アンダーアームの場合／ドロップ・ショット ほか

4　サービスの基本と上達法

ハイ・サービス／ハイ・サービスのテクニック／ショート・サービス／打点は高く、フライトは低く／その他のサービス ほか

5　バックハンドを身につける

アンダー・バックハンド・ストローク／ハイ・バックハンド・ストローク／ハイ・バックハンドのコツ／バックハンドを練習する時のポイント ほか

6　ウェアと用具

用具の四原則／シューズ／上着／ラケット ほか

7　ネバー・ギブアップ

準備にベストを尽くす／自分が苦しい時は相手も苦しい／「もし……すれば」は禁物／目に見えない敵に勝つ／いくつもの練習を組み合わせる ほか

8　集中力と精神力

〝勝つ〟信念が勝利をよぶ／チャンスのくるまで粘りつづける／目標をしっかり持つ／〝読み〟のできるプレーヤーに／未知に排戦する喜び ほか

9　コンディションの調整

うまくなるための要素／ランジングの練習／実行あるのみ／スタミナのもとは食事 ほか

10　パターン練習

練習は試合以上のものを／精神のスタミナを／ハッシュマン式パターン練習／半面練習 ほか

11　基本的な戦術

シングルスの戦術／サービスに安定性を／高度なことはやらなくてよい／タテにゆさぶる／ダブルスの戦術／一にも二にも攻撃／苦しくても〝考えた配球〟を ほか

★日本の実情に合わせて梶野尾昌一・悦子夫妻が**ワン・ポイント・アドバイス!!**

★**連続写真**：ルディ・ハルトノ、リム・スイ・キン、パデュコーン・プラカシュ、スヴェン・プリらフォームを収録して、さらにわかりやすくなっています!!

出版案内

バドミントン界編集部

お申込みは巻末とじ込みの振替用紙で、お近くの郵便局からどうぞ

ガッツ・バドミントン

オールジャパン男子シングルスでＶ８をなしとげた日本最強の〝ガッツ〟小島が、そのすべてをさらけ出した書。日本図書館協会選定図書――!!



限りなき挑戦

小島一平著

勝利へのガイドブック!!

好評発売中!!

菊倍判（225ミリ×295ミリ）

定価2000円（送料350円）

〈本書の内容〉

第Ⅰ部　体当たり半生記

１バドミントンとの出会い／２トップ・プレーヤーと接する／３オールジャパンを制す／４限りなき挑戦

第Ⅱ部　実戦アドバイス

１方法よりも意欲だ／２体力づくりに近道はない／３より速く、より高く、より前で

第Ⅲ部　わがライバルたち

１日本最高のシングルス・プレーヤー（秋山真男）／２団体戦に燃えた男（本間順次）／３夢ではない〝世界一〟（銭谷欽治）／４もの静かな全英チャンピオン（タン・アイク・ハン）／５デンマークの暴れん坊（スヴェン・プリ）／６史上最強の天才プレーヤー（ルディ・ハルトノ）

第Ⅳ部　主要大会記録・ルール

トマス杯大会／ユーバー杯大会／全英選手権大会／デンマーク・オープン大会／世界選手権大会／全日本総合選手権大会／競技規則／審判用語

★連続写真：小島一平、銭谷欽治、中井基夫、長谷川博幸、西山博司による11フォームを収録!!

★著者紹介★

小島一平（コジマ　イッペイ）は、神奈川県立緑ケ丘高校、中央大学卒。高校時代はインターハイ・シングルス2位だったが、大学に入ってからメキメキ実力をつけ、昭和41年から昭和50年の間に、オールジャパン・シングルス優勝８回、同ダブルス優勝４回という、わが国最高の記録を残している。全英選手権でも単複３位のほか、デンマーク・オープンでは単複に優勝している。

ヨネックススポーツを経て、現在はラケットショップ元町常務取締役。

テクニックを盗め



ダブルス講座　ヘアピン

飯野佳孝

スピンに挑戦しよう。コツはラケットを立てて入り、面の先端で！

〝ネットプレー〟というと、ダブルスでは幅広い意味に使われてしまう。

つまり、ネット前でのストップ、プッシュ、アタック、ヘアピンはすべて、ネットプレーの一種である。

その中で、今月はヘアピンの打ち方について書いてみることにしたい。

〝ダブルス講座〟の観点からすれば、ヘアピンは頻度の低いものかも知れない。

ヘアピンにこだわることは、ダブルスではマイナスに作用する場合も多い。

しかし、世界のプレーは日進月歩している。

世界の、技術革新の流れを無視しては〝バドミントン〟は語れない。

現在、このヘアピンと〝羽根打ちサービス〟に、はっきりと技術革新を見ることができる。

今や、ヘアピンは〝スピン〟の時代である。

世界では、スピンなくしてはヘアピンの用を足さなくなって来ている。

スマッシュに結びつける新しい武器として、また決定打にもなり得る武器として、ヘアピンにスピンを加えることは、世界、いや日本のトッププレーヤーの中では常識とさえいわれている。

しかし、これをトッププレーヤーだけの所有物でとどめてはならないと思うのだ。

より幅広い層が修得してこそ、初めてレベルアップにつながるのではないか。

社会人も、大学生も、高校生も、どんどん〝スピン〟に取り組んでもらいたい。

新しいもの、良いものに挑戦することは、ある意味では体力の限界に挑み記録を向上させることと共通する、**本来の〝スポーツマン精神〟〝ファイティング・スピリット〟ではないだ**うか。

今月は、ダブルスだけでなくシングルスを含めた、基本的ストロークの打ち方として受けとってもらいたい。

〝シャトルにスピンをかけるヘアピン〟の打ち方についてである。

まず大切なことは、サービスの項でも〝羽根打ちサービス〟の打ち方として説明したが、ラケット面の**〝スウィートスポット〟を外せ**、ということ。

反発力の強い〝スウィートスポット〟を外して、ラケット面の先端で打つことが第一。

スウィートスポットを外して打つということは、**より長い時間シャトルをラケット面に保つことができる。**

スウィートスポットを外して、シャトルに対して斜めにラケットを出すことが肝心なのだ。

その際に注意して欲しいのは、**ラケットを送り込むときに、ラケットを立てて入るようにすること。**

これが、自然にラケット面を斜めにシャトルに当てるコツである。

意識して〝切る〟ようなスイングをするより、スウィートスポットを外して斜めに当たるようになれば、自然とスピンがかかってくる。

馴れることだ。

何度も何度も、自分でトスを上げて練習することが一番。

ただ、ここで注意しておきたいのは、ダブルスにおいてもシングルスにおいても、なにがなんでもスピンをかければ良いというものではない。

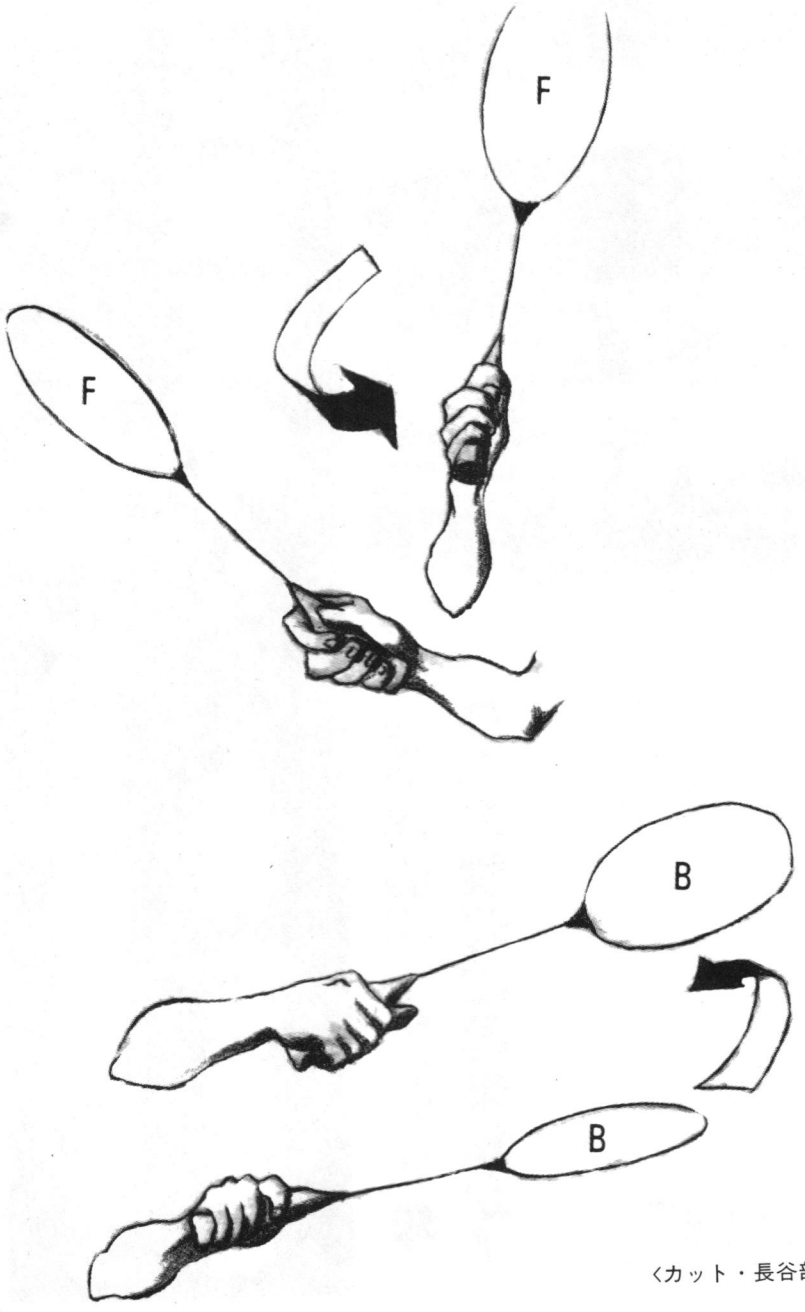
低い位置でシャトルをとらえる場合、またサイドライン際の際どいコースのものを、無理にスピンをかけようとすることは好ましくない。

特に、フォアサイドに関しては、スピンをかけるのが難しくミスが多くなるので避けた方がよい。

コートのセンターからは、スピンをかけるのに絶好の位置だが、**この場合はフォアハンドを用いると、よりスピンの威力を増すことができる。**

以上のことに注意して、スピンに挑戦してもらいたい。

しかし、ダブルスでは相手は2人いるのだから、あまり厳しいネットすれすれのヘアピンを打っても、楽に取られてしまうことを考えれば、正確さを第一に考えるべきである。



〈カット・長谷部憲和〉

名門校とその名物監督

――青森県・千葉学園高校（女子）監督・佐藤正明

〝東北の雄〟として10年、今年の雪辱は再来年か！

〝ローマは一日にして成らず〟かつて名選手といわれた人も、現在トッププレーヤーと呼ばれる人も、一朝一夕に強くなり上達したのではない。

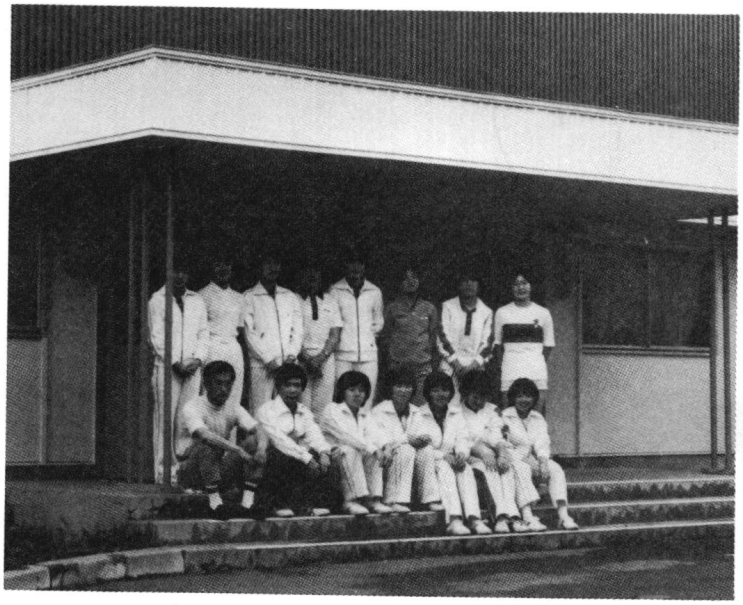
バドミントンとの出合いがあり、猛練習に泣いた日があり、栄光に至るまでの道は難行苦行の連続であったはずである。

その過程の中でも、とりわけ高校時代は選手にとって感慨深いものがある。

どんな環境の中で、どんな監督の下で青春を過ごしたのか、それはわれわれにも興味は尽きないところ。

そこで今月から、全国各地の名門高校を訪れ、その伝統を育む環境と名物監督にスポットを当て連載いたします。

題して〝名門校とその名物監督〟。



この10年ですっかりインターハイの常連となった千葉学園

さて、第1回目の今月は〝東北の雄〟千葉学園を訪れる。

国鉄・八戸駅から車で10分ほどの繁華街、本八戸のすぐ近くに〝千葉学園〟はある。

ここ十年の間に、メキメキと力をつけ、青森県を代表するばかりでなく、全国でも指折りの強豪にのし上ってきた秘密はどこにあるのだろう。

校門をくぐると、すぐ左手に立派な体育館が建っている。

バドミントンコートなら8面はゆったりと使用できる、堂々とした体育館。

さぞかしスポーツが盛んな学校と想像しそうだが、全国大会へ出場できるのはバドミントンぐらいとか、変わったところでは〝バトントワラー〟が強く、これは全国2位の実績。

現在、バドミントン部員は3年生が3名、1年生が13名、2年生が1人もいないのが悩みで、そのためか今年のインターハイの団体戦の出場権利を取れず、惜しいところで6年連続を逃がしてしまった。

それでも、体育館へ入るとムッとした熱気が感じられる。

団体戦はなくとも「個人戦がある」というわけ。

佐藤正明監督は開口一番「2年生が1人もいないのが痛かっ

羽根打ちサービス一番乗り、一年がかりで完成！

た。連続記録が途絶えたのは残念だが仕方ない。今年は有望な1年生がいるから、2年後を目指してまた頑張ります」と、口惜しさを表情に出さずに、意気軒高。

あまり敗戦にこだわっている様子は見られない。

後を振り返えるより、前を見つめる方が先決ということらしい。

では、佐藤監督との一問一答によって、その横顔を――

――バドミントン部の歴史と先生が監督になられたのは。

佐藤監督　バドミントン部ができたのは、もう大分古く二十二・三年になるそうです。私が監督に就任してから十三年目になります。それまでは、個人戦では全国大会へ出場していましたが、団体では出たことがありませんでした。

就任してから4年目で県の代表。以来、2度団体戦を落としたほかは、ほとんどインターハイへ出場しています。

私が大学（東北学院大）を卒業するときに、千葉学園へ来てバドミントンを教えてくれないかと誘いを受けたんですが、当時は名前からして千葉県にあるものとばかり思っていました。

ですが、来てみると学校側で大変に力を入れてくれるし、住めば都とはよくいったもので、もう十三年も経ってしまいました。

実は、私の前の顧問が校長の千葉満先生で、その関係でとても熱を入れてくれるのです。

例えば、大会以外に年6回の県外遠征を、学校負担で認めてくれたり、部費も特別待遇並みの援助をしてくれます。その点では、他校に比べ本当に恵まれていると思います。

――年間を通しての練習計画はどのようになっているのですか。

佐藤監督　やはり冬場は、体育館の中でも零下になるほど寒いので、トレーニングやノック中心になりますね。しかし、部分練習でもすべて実践に結びつけた方法を採っています。

ゲーム練習を中心にするのは5月になってからです。

それと、先ほどもいいましたように年6回の遠征を許可してくれますから、冬とお盆には北海道で合宿をします。

北海道の体育館は、暖房が利いているし、ウチは北海道出身者が多い関係もあります。

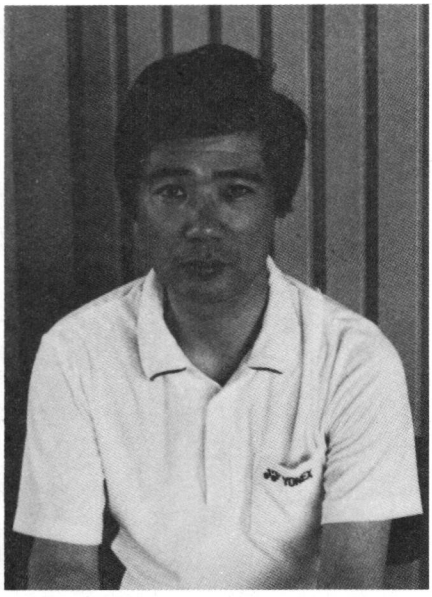
あとは、実業団チームを訪れて胸を借りています。

――北海道出身が多いというのは？

佐藤監督　現在は、高校からやり始めたのでは、とても追いつかない。かなりレベルが高くなっていますからね。

かといって、八戸市内でバドミントン部のある中学は、たった1校。それで、北海道の上砂川中学に選手を求めているんです。5年前から、毎年1人は入学してくれています。

北海道から来た子や、学校から


厳しさの中にもやさしさが……佐藤監督

――先生の指導法、またはモットーといったものを聞かせてください。

佐藤監督　私の信条として、まず生徒に理解させた上で、プレーをさせたいと思っています。あまりスパルタにはなりたくありません。それは月に1・2度は手を上げることもありますが、それでは生徒は伸びない、明かるさも失なわれます。

月に2度は、土曜日を利用して講義を2～3時間行ないます。私の家へ全員を呼んで、日頃不足しているサラダなどをタップリ食べさせながら、講義をしたり、ミーティングしたりするんです。

ただ強くするだけではなく、高校生らしく、人間的に成長させなければなりませんからね。

スパルタで、単に強制的に押しつけても、理解が遅くなると上達も遅れるし、また上達も途中でストップしてしまいます。

――技術的なものについては、どのような方針で指導されているのですか。

佐藤監督　それは〝攻めのプレー〟の一語に尽きますね。スマッシュだけではなく、クリアーにしろ何にしろ、中途半端では勝てません。攻撃に徹底するよう指導しています。

――そういえば、羽打ち（スピン）サービスを始めたのも、高校女子というより日本女子の中で、確か一番早かったと記憶していますが。

佐藤監督　そうですね。雑誌の写真などを見ながら、まず私が試してみて、生徒に一年がかりで工夫をさせ完成させました。

丁度、体が弱くトレーニングのできない生徒がいたので、その子が毎日1時間を費してでき上がりました。攻撃のためには素晴らしい方法ですから。

ら遠い子は寮で生活できるようになっています。

早朝、生徒の押す呼び鈴を聞くのが日課の始まり

――練習はどのくらいするんですか。

佐藤監督　毎日授業が終ってから、8時頃まで、年中、ほとんど休みはありません。正月と、お盆休みをチョット。朝練は強制していません。自発的に欠点を直したり、サービス練習をやっている子はいます。朝練の代わりといっては何ですが、レギュラークラスの子は、毎朝ランニングを私の家まで往復させます。寮にいる子は寮から、自宅の子は自宅から、それぞれ勝手に走って私の家まで来て、呼び鈴を鳴らして帰るんです。一人一人に呼び鈴の押し方が決めてあって、私はそれをまだ布団の中で、二度鳴ったから誰が来たなという風に、夢うつつの中で確認するわけです。

――文字通り、寝ても醒めてもバドミントン、ということですね。先生自身は休みというのがないんですか。

佐藤監督　そうですね、正月休みの二・三日だけですね。お盆でも地元組か、北海道組のどちらかは練習をしていますし、体が一つでは、本当に足りません。

でも、こちらが一生懸命にやるから、生徒もついてくるんだと思います。楽をしていたんでは、生徒もついてこないんじゃないでしょうか。

◈　◈　◈

インタビューが進むにつれ、素朴でひたむきな情熱がヒシヒシと伝わってくる。

そういえば、あの常勝・四条畷に初めて土をつけたのも千葉学園だった。

昨年は、優勝候補の一角に挙げられていたが、エースの故障という思わぬ不運のため野望を絶たれてしまった。

しかし、「1年生が多いのでゼロからやり直す」といい切った口元は、明らかに再び大望へ向かってスタートを切った意志が感じられる。

来年、そして再来年はまた、かならず〝千葉学園旋風〟が吹き荒れることに違いない。



部旗の前での練習は一糸乱れず

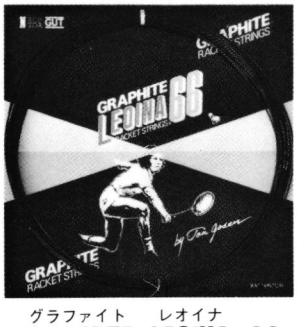


RACKET BADMINTON STRINGS

世界のトーアが贈る
バドミントンガットシリーズ



レオイナ　ホーン
LEOINA HORN S



グラファイト　レオイナ
GRAPHITE LEOINA 66



レオイナ　シープ
LEOINA SHEEP 66



トーア　ストリングス
TOA-STRINGS SSW



トーア　ストリングス
TOA-STRINGS SSW

東亜ストリング株式会社

〒651　神戸市中央区八雲通３－１－24

☎078(232)1991(代)

G 30 YEARS
ラケットスポーツとともに30年

創立30周年記念　8/31まで　ワイド・スケールで当たる

ビッグ・プレゼントが

ゴーセン Grand 30 キャンペーン



ヘッドフォン型ラジオAM・FM

毎月300名さま



毎月3,000名さま

スポーツバッグ

オリジナル

ビッグプレゼント

ゴーセンは今、抽せんで毎月3,300名さまにステキなプレゼントが当たるビッグなキャンペーンを実施中です。ゴーセン商品についているG 30 YEARSシール1枚をキャンペーン参加店店頭の応募ハガキまたは官製ハガキに貼付し、郵便番号、住所、氏名、性別、年令、職業(学校名)、所属クラブ名、お買い上げ店名、住所を明記してご応募ください。お一人さま何口でも結構です。

〈抽選方法〉毎月末に抽選を行います。当選された皆さまにはご当選カードをお送りしますので、お買いあげ店にてカードと引き替えにプレゼントをお受けとりください。

〈送り先〉〒540-91 大阪東郵便局私書箱第459号
株式会社 **ゴーセン スポーツ用品部キャンペーン係**

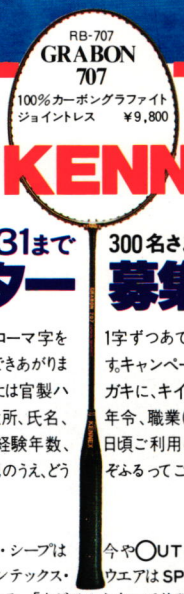


●くわしくは、ゴーセンスポーツ用品部、お近くのキャンペーン参加スポーツ店にお問合わせください。

ラケットスポーツで世界をむすぶ

GOSEN

本　　社 ● 〒540 大阪市東区豊後町4　☎ (06)942-5816㈹
東京支店 ● 〒111 東京都台東区蔵前4-14-2　☎ (03)862-6576㈹
福岡営業所 ● 〒810 福岡市中央区薬院1-4-8　☎ (092)712-5247㈹
北陸営業所 ● 〒921 石川県金沢市横川7-22　☎ (0762)47-0200㈹



PRO KENNEX プロケネックス

8/31まで モニター 300名さまに 募集中!

①～③に正しいローマ字をのキイ・ワードができあがりまの応募ハガキまたは官製ハ名、郵便番号、住所、氏名、クラブ名、プレイ経験年数、店名、住所を明記のうえ、どう

1字ずつあてはめると、5文字すキャンペーン参加店店頭ガキに、キイ・ワード、ラケット年令、職業(学校名)、所属日頃ご利用のスポーツ用品ぞふるってご応募ください。

〈問題〉

1. ゴーセンのハイ・シープは　今や○UTの代名詞です。
2. ゴーセンのウインテックス・ウエアはSP○RTS WEAR のベーシック・カラー「あざやかな白」が基調です。
3. ゴーセンのインターナショナル・ブランドといえば PROKENNEX RACK○Tです。

〈ヒント〉ゴーセンは皆さまにすぐれたGUT、SPORTS WEAR、RACKETをおとどけするラケットスポーツの総合メーカーです。

〈キイ・ワード〉

① ② S ③ N

〈抽せん・発表〉毎月末に厳正な抽せんを行います。ご当選者には当選カードをお送りしますので、ご明記のスポーツ用品店にてカードと引き替えにモニターラケットをお受けとりください。

〈送り先〉〒540-91 大阪東郵便局私書箱 第459号
株式会社 **ゴーセン スポーツ用品部モニター・キャンペーン係**

ずらり、4店勢揃い。

渋谷店

760㎡（230坪）の広々とした店内でゆったりショッピング。

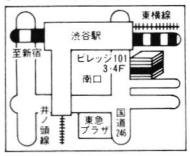


バドミントンコーナー



毎月曜日定休

東京都渋谷区桜ヶ丘町1-7（ビレッジ101ビル3・4階）　TEL03-464-9251〜2〒150
●営業時間/午前10時〜午後7時30分
●日曜・祭日は午後7時まで

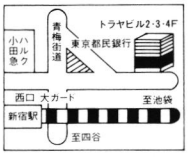


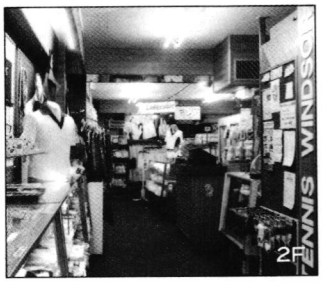
新宿店

落ち着いた雰囲気でお買いもの。各階それぞれの楽しさがいっぱい。

毎月曜日定休

東京都新宿区西新宿7-10-20（トラヤビル2・3・4階）　TEL03-363-6848〒160
●営業時間/午前10時〜午後7時30分
●日曜・祭日は午後7時まで







バドミントン・フロア

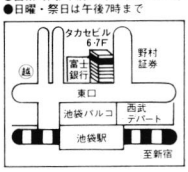


池袋店

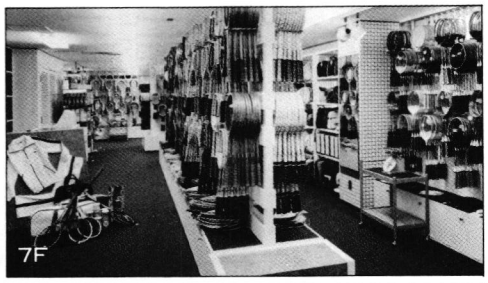
つぶ揃いのテニス、バドミントン用品が店内にあふれんばかり。

毎月曜日定休

東京都豊島区東池袋1-1-4（タカセビル6・7階）　TEL03-989-0401〒170
●営業時間/午前10時〜午後7時30分
●日曜・祭日は午後7時まで



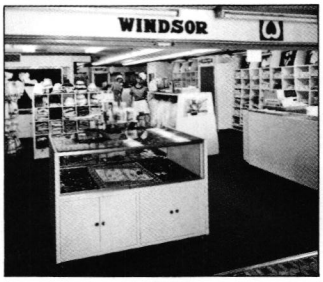




横浜店

ラケット、ウェア、シューズ……すべてに豊富な品揃え。選びやすい各コーナー。



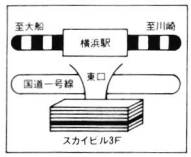


男性ウェア・コーナー



年中無休

横浜市西区高島町2-1　横浜駅東口（スカイビル3階）TEL045-453-1785〒220
●営業時間/午前10時〜午後8時
●日曜・祭日も午後8時まで



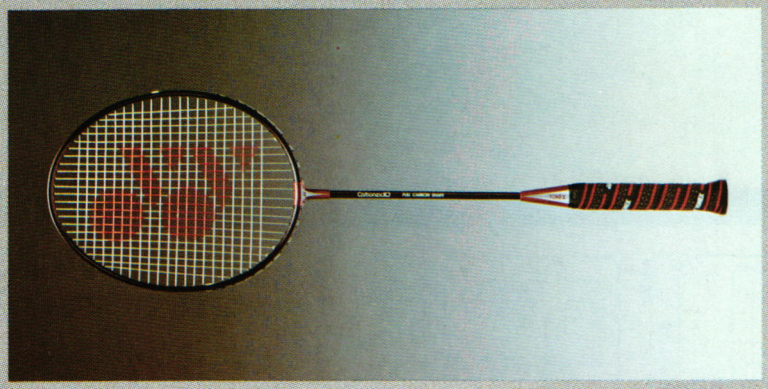
日本最大のテニス・バド専門店
WINDSOR RACKET SHOP

信頼のマーク WINDSOR ウインザー ラケットショップ。



ロークと、正確なコントロールを生みだします。スマッシュはあくまで鋭く重く、全てにおいてグレードアップしています。いってみれば、カーボンのなかのカーボン。他を寄せつけない存在です。ますます面白くなってきたぞバドミントン。

YONEX®



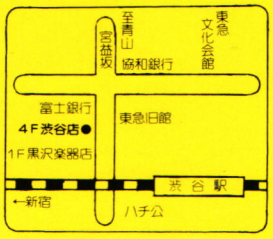
「惚れ

新発売 リム・スイ・キングの片腕。ヨネックス。

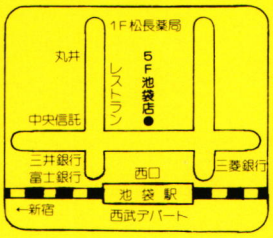
Carbonex10

カーボンとアルミ合金の複合フレーム〈CAB-10〉

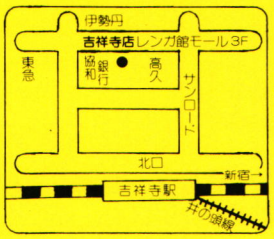
またまたコートに、凄いヤツの登場です。ラケ
トも、ついにここまで来たのか！という声に
つまれて、全身カーボンのカーボネックス10
シャフトはもちろんカーボン。そしてフレーム
でカーボンとアルミ合金の複合体。しぶとい



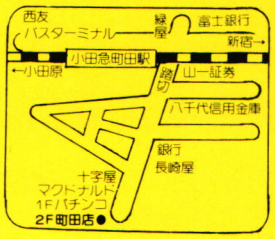
●渋谷店
バドミントン・プロショップ
☎03-400-7390



●池袋店
バドミントン・プロショップ
☎03-988-0215



●吉祥寺店
バドミントン・プロショップ
☎0422-21-7890



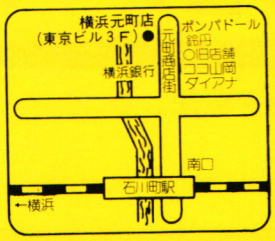
●町田店
バドミントン・プロショップ
☎0427-28-6050

ボクも狙うぞ 全国制覇！

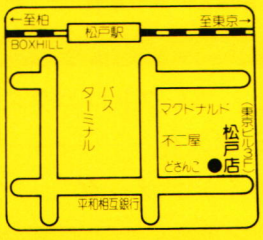
七番目の"松戸店"オープン
ズラリ揃った "七人の侍"
"エイトマン"出現の地は？

ラケットショップ元町®

ラケットショップ元町®



●横浜店
テニス・バドミントン
0045-551-6651-792-8022
0045-551-6622-1-7918-3537-0



●松戸店
バドミントン・フロショップ
☎0473-64-6284



●藤沢店
テニス・バドミントン
☎0466-26-2552

君は厳しさに
たえられるか

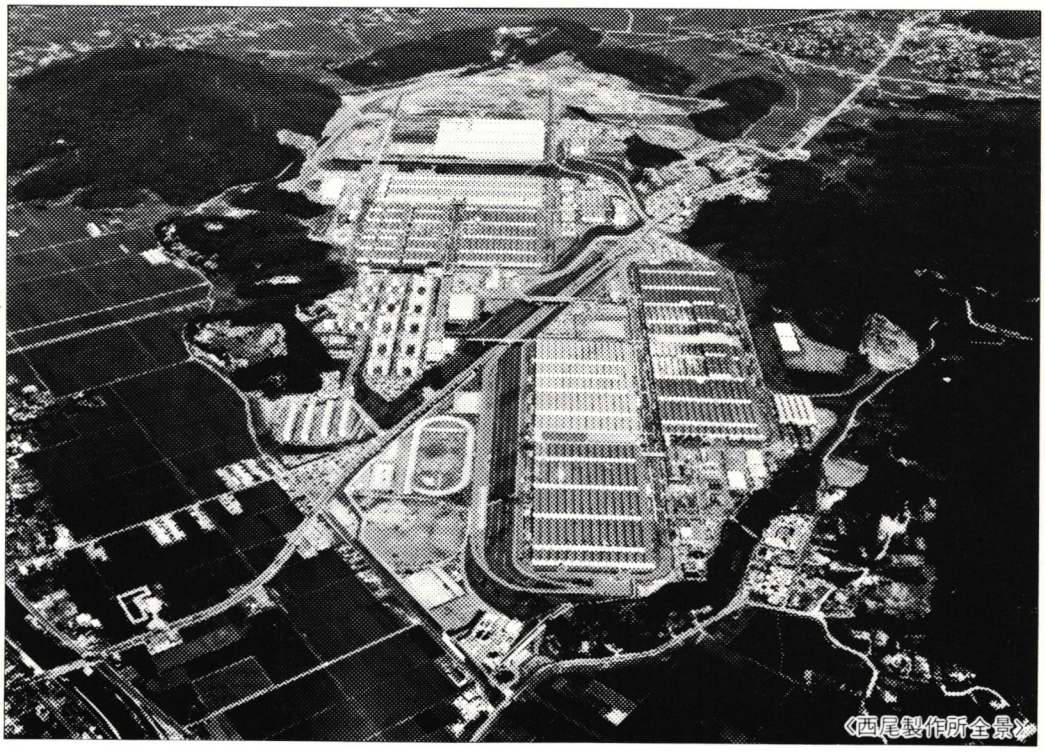
正社員若干名募集



®

自動車部品の総合メーカー

長年つみ重ねてきた、エレクトロニクスの技術を駆使して
自動車のエレクトロニクス化――――――
モートロニクスを進めるデンソー!!


《西尾製作所全景》

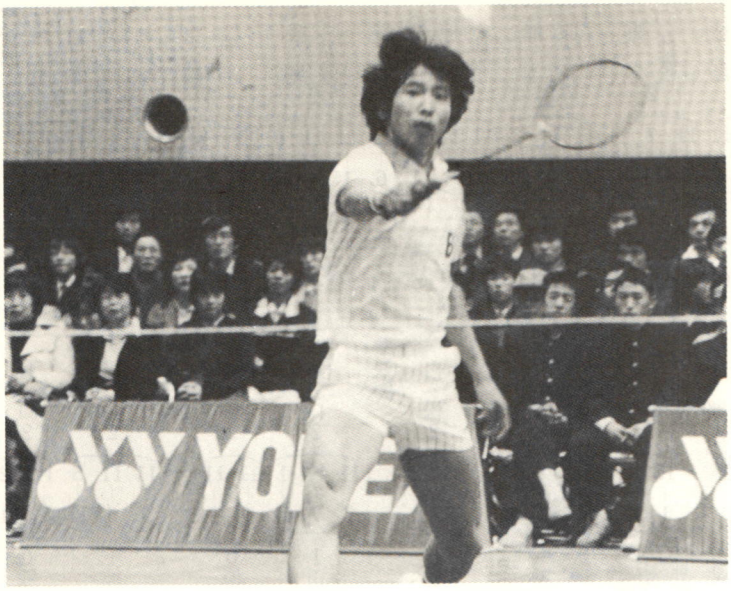
《営業品目》

- ●スターター
- ●オルタネーター
- ●ダイナモ
- ●レギュレーター
- ●イグニッションコイル
- ●ディストリビューター
- ●マグネトー
- ●ホーン
- ●ワイパー
- ●ウインドウォッシャー
- ●各種電子制御装置
- ●排気ガス浄化装置
- ●カーエアコン
- ●カークーラー
- ●カーヒーター
- ●燃料噴射ポンプ
- ●各種メーター
- ●ラジエーター
- ●スパークプラグ
- ●フィルター

日本電装株式会社

本社／愛知県刈谷市昭和町1－1　（〒448）　TEL 刈谷(0566)22－3311

関東学生選手権
男子は西山が二冠
女子単は筑波の白松



さすが意地を見せた西山（中大）

◇Aブロック男子シングルス

▼5回戦

西山（中大）2 — 15 15 / 15 1 / 1 — 0 梨子田（大東）
井上（日体）2 — 15 18 12 / 4 15 15 — 1 川島（中大）
権藤（日体）2 — 15 15 / 6 5 — 0 羽田（法大）
丹藤（法大）2 — 15 15 / 6 6 — 0 古賀（法大）
山本（法大）2 — 15 15 / 8 9 — 0 保科（法大）
千葉（中大）2 — 18 15 / 15 9 — 0 岩渕（早大）
大島（日体）2 — 15 18 / 8 17 — 0 小西（中大）
宮本（中大）2 — 15 15 / 5 3 — 0 坂井（日体）

▼準々決勝

西山 2 — 15 15 / 2 9 — 0 井上

◇Aブロック男子ダブルス

▼4回戦

丹藤 楠美（法大）2 — 15 15 / 7 10 — 0 伊藤 勝木（日大）
千葉 細谷（中大）2 — 15 15 10 / 10 4 15 — 1 堀井 岩渕（早大）

▼決勝

山本 2 — 15 15 12 / 10 3 15 — 1 山本 西山 2
大島 2 — 15 15 / 8 3 — 0 権藤 山本 2

▼準決勝

西山 2 — 15 15 / 5 9 — 0 宮本 大島 2
山本 2 — 15 15 / 4 5 — 0 千葉 権藤 2
権藤 2 — 15 15 / 2 2 — 0 丹藤

▼準々決勝

丹藤 楠見 2 — 15 15 / 5 12 — 0 細谷 千葉
六川 見城 2 — 15 15 / 7 9 — 0 本石 久郷
青木 上田 2 — 15 15 / 5 7 — 0 宮本 西山 2
権藤 石場 2 — 15 15 / 6 12 — 0 木内 蘭
丹藤 楠見 2 — 15 15 / 6 5 — 0 見城 六川

▼準決勝

西山 宮本 2 — 15 16 17 / 12 17 14 — 1 石場 権藤

蘭 木内（早大）2 — 15 15 / 10 11 — 0 岡野 貴田（法大）
権藤 石場 2 — 15 15 / 3 7 — 0 大通 小西（中大）
青木 上田 2 — 15 11 15 / 6 15 10 — 1 守安 清水（日大）（法大）
西山 宮本 2 — 15 15 / 11 7 — 0 古賀 山本（中大）（法大）
六川 見城 2 — 15 15 / 4 7 — 0 武野 仲村（日大）（日体）
久郷 本石（法大）2 — 18 15 / 17 10 — 0 吉村 須貝（中大）

▼決勝
西山 宮本2 — 丹藤 楠見0 (17-14 15-10)

◇Aブロック女子シングルス
▼4回戦
白松(筑大)2 — 高鴨(日体)1 (11-4 11-3 8-1)
長尾(日女体)2 — 倉見(日体)1 (11-1 11-4 6-11)
笠松(東女体)2 — 大内(青学)0 (11-1 11-6)
原田(日体)2 — 松田(青学)0 (11-0 11-4)
熊本(東女体)2 — 今川(日体)1 (11-5 11-9 2-11)
野口(日体)2 — 山田(青学)1 (11-7 7-11 11-1)
彼島(青学)2 — 清藤(東女体)0 (11-6 11-4)
田村(日体)2 — 藤本(日女体)0 (12-11 11-8)

▼準々決勝
白松2 — 長尾0 (11-1 11-1)
原田2 — 笠松1 (11-3 11-5 6-11)

▼準決勝
野口2 — 熊本0 (11-9 12-11)
田村2 — 彼島1 (11-9 11-6 5-11)
白松2 — 原田0 (11-4 11-4)
野口2 — 田村1 (11-7 7-11 1-11)

▼決勝
白松2 — 野口0 (11-3 11-4)

◇Aブロック女子ダブルス
▼3回戦
小野 高峯(日女体)2 — 白松 徳田(日女体)0 (15-1 18-15)
小路 野口(日体)2 — 北山 広川(青学)0 (15-4 15-1)
熊本 笠松(東女体)2 — 大野 尾崎(日女体)1 (15-8 15-4 8-15)
藤井 原田2 — 藤永 高嶋(筑大)1 (15-4 14-18 15-5)
彼島 大内2(青学) — 清藤 坂井(東女体)1 (15-3 15-10 11-15)

今川 野上2(日体・日女体) — 東海林 湯沢(日女体)0 (15-7 15-5)
長尾 皿井2 — 荒木 田内(東女体)0 (15-13 15-10)
田村 高鴨2(日体) — 松田 柳谷(青学)0 (15-4 15-13)
小路 野口2 — 小野 高峯0 (15-12 15-12)
藤井 原田2 — 熊本 笠松0 (15-10 15-11)
今川 野上2 — 彼島 大内0 (15-9 15-8)
高鴨2 — 長尾 皿井1 (15-3 15-9 9-15)
藤井 原田2 — 小路 野口0 (17-15 15-9)
今川 野上2 — 田村 高鴨0 (18-14 15-11)
藤井 原田2 — 今川 野上0 (15-2 15-12)
山下(国士館)2 — 羽島(国士館)1 (15-7 15-6 8-15)

大川(国士館)2 — 机(亜大)0 (15-5 15-10)
山下 2 — 大川 0 (15-4 15-10)
丸山 山本2(日体) — 山下 大川0(国士館) (15-12 15-11)
武笠 寺嶋2(城西) — 小出 小野内1(東経) (15-8 15-9 16-18)
丸山 山本2 — 武笠 寺嶋0 (15-7 15-6)
佐藤 有川2(東女体) — 細見 栗原1(日体) (15-6 17-16 11-15)
須藤 菅2(東女体) — 神原 椎原1(独協) (15-4 13-15 15-3)
佐藤 有川2 — 須藤 菅1 (15-12 9-15 15-5)
有川(東女体)2 — 北原 1(昭女) (11-3 11-3 7-11)
佐藤(東女体)2 — 吉岡 0(東女体) (11-6 11-4)
佐藤2 — 有川0 (11-8 11-0)

中四国に学生リーグ誕生
第1回は男子島根大 女子岡山大

中国、四国地区に学生リーグが誕生した。

第1回の中四国学生バドミントンリーグ戦が、6月20日から22日まで、岡山県体育館、岡山大学体育館において盛大に開催された。（主催・中四国学生バドミントン連盟、後援・山陽放送、山陽新聞社、岡山県バドミントン協会、主管・岡山大学バドミントン部）

会場は、「第1回大会」を祝うかのように、うっとうしい梅雨空を吹きとばすような活気に溢れ、今後の発展を約束する盛況さであった。

記念すべき大会の結果は、男子の島根大、女子の岡山大が、それぞれ全勝で優勝に輝きその第1ページを飾った。

▼男子1部
〈1位〉島根大学　5勝0敗
〈2位〉岡山大学　4勝1敗
〈3位〉広島大学　3勝2敗
〈4位〉鳥取大学　2勝3敗
〈5位〉山口大学　2勝3敗
〈6位〉香川大学　0勝5敗

▼女子1部
〈1位〉岡山大学　4勝0敗
〈2位〉山口女子大　3勝1敗
〈3位〉高知大学　2勝2敗
〈4位〉島根大学　1勝3敗
〈5位〉香川大学　0勝4敗

▼男子2部
〈1位〉広島修道大　4勝0敗
〈2位〉愛媛大学　3勝1敗
〈3位〉広島工業大　2勝2敗
〈4位〉岡山理科大　1勝3敗
〈5位〉高知大学　0勝4敗

▼女子2部
〈1位〉山陽学園短　4勝0敗
〈2位〉山口大学　3勝1敗
〈3位〉広島大学　2勝2敗
〈4位〉愛媛大学　1勝3敗
〈5位〉鳥取大学　0勝4敗

※入れ替え戦により、男子の広島修道大は1部へ昇格。女子の山陽学園短大も1部へ昇格が決定。

香川県社会人学生
男子単は日下が
八連覇の偉業

旧聞になりますが、第14回香川県社会人学生バドミントン選手権大会が高松市で行なわれた。

男子シングルスでは、日下昇選手（百十四銀行）が昨年のインカレ三冠王・上原明選手（香川労済）をファイナルゲームのすえ降し、8年連続8回目の優勝という金字塔を打ち建てた。

同ダブルスは峰（太田南小教）・上原組、女子シングルスは四宮（百十四銀行）、同ダブルスは北池・四宮（百十四銀行）がそれぞれ初優勝を飾った。

▼男子シングルス準決勝
上原（香川労済）2―0 金崎（屋島中教）
日下（百十四銀行）2―0 峰（太田南小教）

▼同決勝
日下 2（16―17, 15―11, 18―17）1 上原

▼女子シングルス準決勝
四宮（百十四銀行）2―0 岡本（百十四銀行）
磯崎（高校琴平電鉄）2―1 平田（百十四銀行）

▼同決勝
四宮 2（12―9, 11―4）0 磯崎

▼男子ダブルス準決勝
吉川・木下（システムMK・新日本印刷）2―1 岡・岡田（香川県庁）
峰・上原（太田南小教・香川労済）2―0 金崎・松村（屋島中教・五色台野外活動C）

▼同決勝
峰 2（5―15, 15―6, 15―11）1 吉川・木下

▼女子ダブルス準決勝
磯崎・小野（高松琴平電鉄）2―1 川東・牛田（善OG）
北池・四宮（百十四銀行）2―0 東条・山下（高松琴平電鉄）

▼同決勝
北池・四宮 2（15―7, 15―5）0 磯崎・小野

大阪学生
近大、四条畷が
完璧!!

昭和56年度の大阪学生バドミントン選手権大会が、4月16日から28日にわたって大阪市立東淀川体育館、臨海スポーツセンターにおいて行なわれた。

結果は、男子の近大、女子の四条畷短が抜群の強さを発揮してタイトルを独占、〝関西に敵なし〟を証明した。

しかし、今年インカレ2連覇を狙う北田（四条畷）が、大阪体大の伏兵・尾崎に、団体戦で第1ゲームを先取され、一瞬アワヤと思わせるひと幕もあった。

▼男子団体準決勝
近畿大 3―1 大阪大
大阪経大 3―0 大阪体大

▼同3位決定戦

大阪体大 3—2 大阪大

▼同決勝
近畿大 3—0 大阪経大

▼女子団体準決勝
四条畷短 3—0 大阪女子
大阪体大 3—2 大阪教育

▼同3位決定戦
大阪教育 キケン 大阪女大

▼同決勝
四条畷短 3—0 大阪体大

▼男子シングルス準決勝
川嶋（近大） 2（15—15 15—12 13—15）0 谷田（近大）
宇野（関大） 2（15—15 11—9）0 毛利（経大）

▼同3位決定戦
谷田 2（15—15 8—8）0 毛利

▼同決勝
川嶋 2（15—15 3—15 15—6）0 宇野

▼同ダブルス準決勝
重野 竹端 2（15—15 9—11）0 浜本 松井（近大）
浜本 松井 2（15—15 5—7）0 戒野 小坂（経大）

▼同3位決定戦
浜本 松井 2（15—15 5—15）0 戒野 小坂

▼同決勝
重野 竹端 2（15—15 6—1）0 川嶋 近藤

長崎県高等学校
三冠王に一瀬（瓊浦）
浜口（鶴鳴）

昭和56年度の長崎県高等学校総合体育大会バドミントン競技は、6月6～8日、佐世保市で行なわれたが、男子は瓊浦高、女子は鶴鳴女が昨年に続き優勝。

個人戦男子は、一瀬（瓊浦）女子は浜口（鶴鳴）が単複を制し、三冠を独占した。

▼女子シングルス準決勝
北田 2（11—11 4—1）0 松田

▼女子シングルス準決勝
北田 2（11—14 4—1）0 松田
冨田 2（11—8 11—9 6—11）1 青山

▼同3位決定戦
青山 2（11—12 9—7）0 松田

▼同決勝
北田 2（11—11 2—0）0 冨田

▼同ダブルス準決勝
北田 冨田 2（15—15 1—2）0 山内 平良
青山 福田 2（15—15 5—4）0 松田 若林

▼同3位決定戦
松田 若林 2（15—15 4—8）0 山内 平良

▼同決勝
北田 冨田 2（15—15 2—4）0 青山 福田
（女子はすべて四条畷短）

▼男子団体準決勝
瓊浦高 2—0 佐世保北
長崎日大 2—0 諫早高

▼同決勝
瓊浦高 2—1 長崎日大

▼女子団体準決勝
鶴鳴女 2—0 琴海高
佐世保南 2—1 長崎商業

▼同決勝
鶴鳴女 2—0 佐世保南

▼男子シングルス準決勝
竹市（諫早） 2（15—15 3—11 15—15）1 亀沢（佐北）
一瀬（瓊浦） 2（15—15 7—10）0 花田（瓊浦）

▼同決勝
一瀬 2（15—15 11—6）0 竹内

▼女子シングルス準決勝
広瀬（鶴鳴） 2（11—11 4—6）0 中村（長商）
浜口（鶴鳴） 2（11—8 11 5—11 7）1 川口（鶴鳴）

▼同決勝
浜口 2（11—11 6—11 12—8）1 広瀬

香川県高等学校
男子は高松商
女子は高松中央

第32回インターハイ県予選を兼ねた、第21回香川県高等学校

▼男子ダブルス準決勝
柳沢 一瀬 2（15—15 11—9）0 大平 宮崎（総大）
花田 山田 2（18—15 14—3）0 藤本 中江（長南）

▼同決勝
柳沢 一瀬 2（15—15 6—5）0 花田 山田

▼女子ダブルス準決勝
広瀬 浜口 2（15—15 3—9）0 中村 前田（佐南）
川口 片平 2（18—17 8—14）0 久松 中村（長商）

▼同決勝
広瀬 浜口 2（18—15 16—11）0 川口 片平

総合体育大会が6月6・7・8日、開催された。

香川県は、全国でも有数のハイレベルの地区とあって、インターハイ出場をめぐって激しい攻防が展開されたが、晴れの代表校には昨年と同じく、男子は高松商業、女子は高松中央が決定した。

個人戦は、女子の高松中央勢が単複の1・2位を独占したのに対し、男子は単を高松商、複を高松西がそれぞれ分け合い、8月のインターハイに臨むことになった。

なお、女子シングルスで優勝した山内佳子選手は、昨年2年生でベスト4入りを果たしており、今年は優勝候補の一角として大きな期待がかけられている。

▼男子団体準決勝

高松商業 2—0 高松一高
高松西高 2—0 高松高

▼同決勝

高松商業 2—0 高松西高

十河 15—11 河野
林 15—11 十河
日下 15—12 植野
2
15—2
0

▼男子団体準決勝

高松商業 2—0 高松一高
高松西高 2—0 高松高

▼同決勝

高松商業 2—0 高松西高

十河 15—11 河野
林 15—11 十河
日下 15—12 植野
2
15—2
0

（三位は決定戦により高松高）

▼女子団体準決勝

高松中央 2—0 高松一高
善通寺一 2—0 高松西

▼同決勝

高松中央 2—0 善通寺一

佃 15—7 吉岡
永井 15—6 岡島
2
0

山内 11—9 平田
2
11—6
0

（三位は決定戦により高松西）

▼男子シングルス準決勝

十河 15—0 平松
2
0

日下 15—6 植野
（高商） 15—4 （高商）
2
4—15
0

（高商） 18—14 （高西）

▼同決勝

十河 15—1 日下
2
17—14
0

（三位は決勝戦により植野）

▼女子シングルス準決勝

山内 11—3 山口
2
11—1
0

氷井 11—2 平田
2
10—12
0

（中央） 12—10 （善一）

▼同決勝

山内 11—8 永井
2
11—4
0

（三位は決定戦により平田）

▼男子ダブルス準決勝

大西 15—6 溝淵
上原 15—5 平松
2
15—5
0

河野 15—10 中浦
十河 15—5 原田
2
0

（高西） （高商）

▼同決勝

大西 15—10 河野
上原 15—12 十河
2
0

（三位は決定戦により中浦組）

▼女子ダブルス準決勝

山内 15—11 谷畑
佃 15—3 福崎
2
0

永井 15—11 吉岡
山川 15—5 平田
2
0

（中央） （善一）

▼同決勝

山内 15—6 永井
佃 15—7 山川
2
0

（三位は決定戦により吉岡組）

▼女子シングルス準決勝

佐々木 11—6 阿部
（勝賀） 12—11 （香一）
2
0

桑田 11—6 西
（勝賀） 11—5 （桜町）
2
0

▼同決勝

宮脇 15—5 林
2
15—8
0

▼男子ダブルス準決勝

田村 18—16 宮下
松浦 15—5 （男木） 浜川
2
0

羽原 15—9 谷川
河野 15—2 （男木） 大江
2
0

桑田 11—6 佐々木
2
11—4
1

▼決勝

田村 15—7 羽原
松浦 15—4 河野
2
0

▼女子ダブルス準決勝

山田 15—8 熊谷
三好 15—9 （善東） 前田
2
0

辻 15—4 綱井
塩田 15—6 （屋島） 玉井
2
0

▼同決勝

山田 15—7 塩田
三好 15—6 辻
2
0

（善一）

香川県中学生
男子単——宮脇
女子単——桑田

第11回香川県中学生バドミントン選手権大会が6月21日、丸亀市民体育館において開催された。

毎年、全国大会へ好選手を送り出すだけに、会場は豆プレーヤーの熱気でいっぱい、好プレー珍プレーが続出した。

▼男子シングルス準決勝

林 15—2 小早川
（紫雲） 15—3 （紫雲）
2
0

宮脇 15—11 泉川
（勝賀） 15—11 （一宮）
2
1

寄稿・U杯防衛には成功したが

難問が山積 これからが正念場

熊本・葦原健身

勝つには勝ったが

第9回ユーバー杯、日本対インドネシアの決勝戦は5月30日・31日東京で行われ、日本は2回連続5度目の優勝を飾った。

大会前から日本の勝利は予想されてはいたものの、9試合中、ファイナルゲームにもち込まれたものが6試合という、多分に「地の利」が勝利を呼び込んだ防衛戦でもあった。

防衛戦に限っていうならば、日本の選手達は、ここ1年の試合・遠征を通じて見た中で、最もひたむきであった。

ただ、それは、あくまでもそれまでの腑甲斐なさに比べてであり、日本内部のことであり、根本的な日本選手の「ハングリー精神の欠除」がこれで解決されたわけではない。

そして今回の防衛で「日本バトミントンの長期低落傾向」にストップがかかったわけでもない。

むしろ今回の勝利によって、その遺産をいつまでも食いつぶし「くるべきものが来る」のに何の手も打つことなくズルズルと行くことにハダ寒さを覚える。

今春、先のヨーロッパ遠征において日本選手団は無惨な成績に終った。

メーンイベントの全英選手権で女子複ベスト4が最高、女子単ベスト8、男子単ベスト16と惨たんたるものであった。

この結果は、近年とみに世界との差が目立つ男子はさておくとして、女子は最低成績であり、日本バトミントンの将来を考えると不安を感ぜずにはおられない結果であった。

ジュニアも力の差がありすぎた。

イングランド、デンマーク、スウェーデンと回ったジュニアチームの成績も男子19勝13敗、女子に至っては、何と4勝45敗という「問題外」の有様であり、外国ジュニアの強さに脱帽どころの話ではなかった。

全英選手権大会の前哨戦、デンマークオープンにおいても日本のエース達は地元のジュニア達のまえにたたきのめされた。

1月のジャパンカップ（東京）でも男子は例によって世界の強豪に手がでず、女子はハングリーな韓国旋風のまえにけ散らされている。

今回、ユーバー杯は何とか防衛したものの、現状のままではお先まっ暗であり、悲観的な材料がそろいすぎているのである。

世界は日進月歩しているのに日本だけが取り残されつつあるような気がしてならない。

ましてや、無冠の王者中国がIBFに加盟することになった現在、その差は開きもっと苦しくなることは目に見えている。

端的にいって、日本はアマチュアスポーツに対する取り組み方が甘い。金ナシ、施設ナシ、長期的展望ナシでは手も打てない。

「外国が本気でやり出したら日本なんか、かないっこない」という日本体協幹部の自潮気味の発言も耳にする。

今後、日本スポーツの、日本バドミントンの地盤沈下は、ますますひどくなるという見方は的を得ているといってよいようである。

プロ対アマ

格差第1の原因は、世界のバドミントン界には、既にプロ化の波が大きく押し寄せているのに、日本はアマチュアで戦いを挑んでいるということである。

周知のとおりインドネシア、ヨーロッパのトップ選手は、そしてお国まるがかえの中国、あるいは韓国も正式にいえば、ラケット1本で飯を食っているプロである。

インドネシアはナショナルチームのメンバーになれば10年間の生活保障があるとも聞く‥。中国においては、卓球世界チャンピオンとなった選手はスポーツ大臣にまでなった。

こうした現状があり、大会が次々とオープン化し、プロ（ライセンスプレイヤー）が増える中で、日本がいつまでも対抗できるであろうか？

何もスポーツに限らず、プロ対アマチュアでは差が出てくるのは仕方がないのではあるまいか。単に、日本の選手は「ハングリーではなくなった‥」とばかりは責められまい。英国の若手が伸びているのは、オープン化した新制度をフルに生かし、賞金をねらって若手がいろいろな試合に挑戦しているからといわれついる。

そしてステートアマ制度が確立し、オリンピックでメダルでも取れば、たちまち「スポーツマスター」として一生を保障される国には、選手がその気を出せば、日本など勝てるはずはないともいえる。

日本バドミントンをして、男子は「とり残された」、女子は「尻に火がついた」と、関係者はアワテ出している。

最大の原因は、オープン化も含めて、バドミントンで飯が食えないこと、保障のないこととといえよう。

格差第2の原因は、日本は選手層が薄く、若手が育たないこと、基礎体力の不足である。

いうまでもなく、6-3-3-4の分断学制と学科試験優先の日本の教育制度では選手は育てにくい。しかも日本の学校対抗スポーツ（学校体育）は、その学制分断のために、目先の勝利にばかりこだわって、こじんまりした選手づくりしかできていない。基礎体力や基本をおろそかにし、技術ばかりはしり、素質を伸ばす訓練をしていない。

海外遠征を通して気付くことであるが、日本の選手は外国に対して、技術的にはそんなに遜色ない。しかし、体力の差（パワー・スピード）、体格の差はありありとみられる。

特に男子においては、ために相手スマッシュの威力が増すのに対して、パワーで押し切られ、フットワークすら目にみえて衰えてくる。そこへ強打をたたき込まれているパターンが多い。つまるところ体力トレーニングの不足である。同様のことはインドネシアのリム・スイ・キンも指摘している。

ここ数年、世界の高さ、スピード、パワーに日本が完全に遅れを取ってきていることははっきりしてきている。

選手層の厚さでも日本は比較にならない。

ヨーロッパは持ち前の社会体育クラブ制度を生かし、多くのバドミントンを楽しむ者の中からトップが育っている。

英国ではジュニア対策に多くの強化費を使って育成をはかっている。

インドネシアや中国には独特の国家背景がある。

日本は若手育成が遅れているために、いつまでもベテランに頼らざるを得ない。

そのベテランが外国のジュニア達に敗れたからといっても、それは一概に選手の責任ばかりでもなかろう。これに代わる選手のいない「層の薄さ」にこそ問題があることを強く訴えたい。

格差第3の原因は、技術以前の意欲欠除、精神面の委縮、渋太さに欠けるということである。

モヤシッ子

私は、ジュニアのヨーロッパ遠征において、日本選手のひん弱さが目について仕方がなかった。たくましさがなく、甘い考えの選手が多く、気力もないから、いざコートに立ったとき全力投球ができなかった。

素朴な疑問であるが、日本の選手は、なぜ海外で、ここ一番に弱いのだろうか？

一つは精神力の弱さであり、もう一つは、もともと実力もないのに、周囲がチヤホヤし騒ぎ過ぎるということではなかろうか‥。それに現代っ子は「皆な裕福に育っているため‥」大舞台で力を発揮できるしたたかさがないということだろう。

大相撲元大関の三根山（高島親方）は、インドで新弟子を募るという。「日本の子供に失望した‥」結果である。

現状の、勉強さえできれば、受験で将来は幸福な家庭を‥、というのが典型的な日本の子供達では、中国やインドネシアに勝てる選手が出るとは考えられないのであるが‥。

一口にいって、いまの選手は努力せずに楽して勝とうという者が多い。本当のハングリー精

学校教育に限界

日本の体育・スポーツ活動は、明治以来文教政策の一環として学校体育を中心に発展してきている。そして学校における運動部の活動は、長い伝統のもとに児童・生徒の人間統治とスポーツの発展に貢献してきた。

しかしながら、近年、世界スポーツ水準の飛躍的上昇、日本スポーツ界の低迷、選手の若年化世界的傾向により、学校運動部で育った選手をアテにしていたのでは世界に対抗できなくなってきた。

一方では、「学校で行うスポーツは体育の教材であって、教育の手段とするものであり、スポーツそのものだけを教えているものではない：」「一部の生徒に限ることなく、全児童・生徒に活動の機会を与えなければ神がない。世の中がよくなったからだろうが：。

このほか格差の原因としては、資質ある選手の不足、バドミントンの指導で飯が食える優秀なコーチの不在、計画的な財政援助のなさ、中途半端な選手養成制度などがあげられる。

：」と、校内における選手制度の悪い面が強調されてくるようになった。

率直にいって、大部分の日本の学校運動部は、その趣旨「全児童・生徒の：」とは裏腹に、試合に勝つための選手主義の色彩が強く、技術主義と勝利主義になっている。

そして、それは甲子園の高校野球に代表されるまでもなく、ますます肥大化してきている。

こうして強いチームをつくるために、優秀な選手を各地から集める。こうした学校（特に私立の高校・大学）が目立っている。スポーツ関係者の常識として、部活動を盛んにするために、私学には授業料免除、合宿費免除といった特待生制度がある。

そして子供も、親も、それへひのき舞台への近道として目をつける。

ここには当然のことながら、露骨な選手スカウトによる引き抜き騒動なども起ってくる。

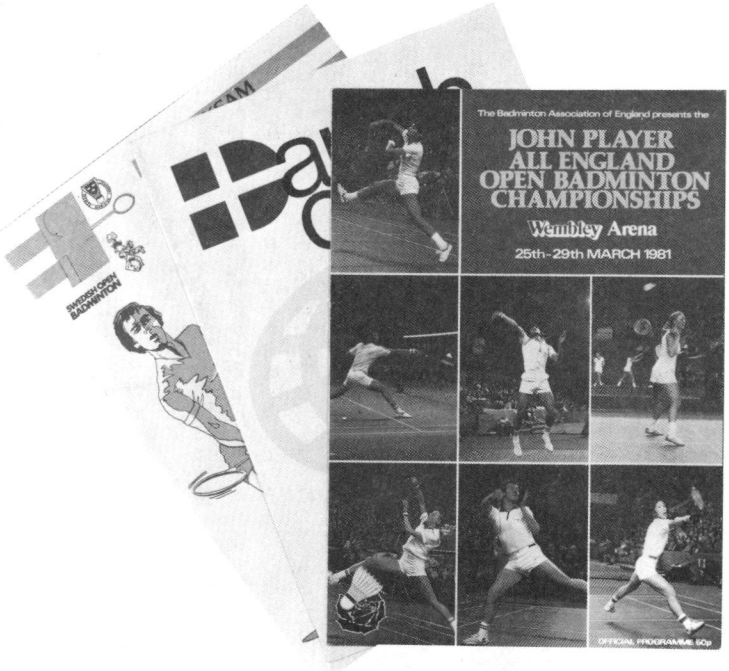
学校側も「校内士気の高揚のためにスポーツを強くする」「私学は経営に苦しく、生き残らなければならないから、スポーツで名を売る」と、打ち出す。

その姿勢には、学校経営に対する危機感が強く、ここには「教育のかけら」も存在しない。

「スポーツで名を売り入学者を確保する：」ことは決して好ましくない。しかし規制もできない：。

私学がスポーツに力を注ぐのは、学校経営のためであることは否定できない事実となっている。そして、それは日本スポーツの大局を考え選手を育成するというものでもない。ただ・単に「定員確保の手段に特典で選手を集める：」ということである。

その事の良し悪しは別として、ゼニの力をかり選手を集めた結果はどうであったろうか：。せいぜい国内の学校対抗大会で名



外国のビッグイベントはすべて賞金のかかった〝オープン〟となった

がでる程度であり、世界のレベルにはほど遠いというのが実態ではあるまいか。

あの熱狂的な隆盛を誇る野球でさえ、アメリカの大リーグに比べれば、日本のそれは大人と子供の差があり、その差は歴然としている。

こうして結局は、日本人の体力的問題、分断学制（学校体育）依存による限界ということに答は落ちつく。

日本では普通、小学校に行くようになって初めてスポーツの世界に飛込むわけであるのだが、種目によっては、それでは時期的に遅すぎるものもあるのではなかろうか。

熊本においても、小学生へバドミントンを普及させるにあたっては、10年前は、早すぎるという批判があった。しかし今は、だれもそんなことは言わない。

日本は社会体育の施設やクラブが不足しているために、学校でということになるのだが、それでは幼児への体育・スポーツなどはおよびもつかないであろう。

また学校体育制度のなかで、小学校、中学、高校、大学、一般と、その都度指導者・方針がかわり、その都度勝利を要求されるのであれば選手は育つものではない。

むしろ伸びる芽さえつみ取ることにもなりかねない。

どんなに学校体育の振興に力をいれても、教師の指導に部活動手当を支給しても、公務災害法の適用をはかっても、あるいは文部省が学習指導要領を改定しても、対外運動競技の基準を緩和しても日本スポーツの問題解決にはならない。

スポーツ選手養成のプロでもない学校が、選手を育てること自体が間違っているのであるから‥。

近年スポーツ活動はいよいよ拡大され、時代の進展に伴う諸条件の変化によって、その制度に問題をはらむようになってきている。ついては学校教育からの脱皮をはかり、新たな組織によって運営される必要があるようである。

一致団結の時！

ミュンヘンオリンピックで世界一となった日本男子バレーボールは、20年前のヨーロッパ遠征で22戦22敗だった。そこからスタートして全日本は世界一の座についた。

バドミントンは、今までがあまりにもうまくゆきすぎた。

日本バドミントンは「中国が登場し、外国がちょいと本腰を入れ始めると、もうダメだ」というのではなく、その場しのぎではなく、本気で危機感をもって再出発を考えることである。

その対策としては、まず第1に、選手にはいっさいの気がかり、悩み、不安をもたせてはいけない環境を与えてやることである。

バドミントンは子供達にとって夢があり、また「メシ」が食える魅力のあるものでなくてはならない。

選手が安心してバドミントンに打ち込める保障・裏付けがなくてはならない。

第2に、社会体育クラブ制度を確立し、いつでもだれでも使える身近なスポーツ場から、多くのバドミントンを楽しむ市民が生まれ、そこから「一流選手」が誕生するピラミッド構造を組織することである。

いうまでもなく、能力のある者には特別の訓練をほどこす機会を与えなければならない。その開花を促し、育てる場がなければ実を結ばない。日本が国際舞台で後れをとらないためには、長期的視野と計画に立って、多くの選手を生み出すクラブ基盤造りに力を入れなくてはならない。

第3に協会フロントと指導現場の一体をはかることである。明確にいって、何の手も打つことなくズルズルやっている協会に対する風当りは強い。

「派閥や、個人的利害が優先する旧態依然の協会体質を変えない限り、今後はもっとミジメになる‥」と断言する関係者もいる。バドミントンは日本協会・地方協会に限らず、もっと長期路線をしき、幼少年層の開拓を手がけ、自らの力で有望なジュニアを養成する努力が必要といえよう。

たとえば、ジュニアのヨーロッパ遠征、これは日本協会のこれまでにない英断であった。

しかし、ジュニアチームのコーチの立場としていわせていただければ、合同練習等する時間もなく、与えられたごちそうといった感じで、正直いって準備のしようもなかった。もし、選手に本当の栄養を与え、その効果を期待するなら、将来のためジュニアナショナルチームの編成に手をつけ、長期計画で選手を育てるべきであろう。

と同時に、早急にジュニアの全日本大会（競技力向上のために、学校基盤でなくとも出場できる社会体育の大会）開催が望まれる。

日本のバドミントンも、「今ごろ騒ぐなんてちょっと遅すぎるし、まあ、考えようによっては不振もいい薬であるのだが‥」学校体育と企業に依存する現状の中で、いかに道を開くのか。

開きつつある世界との差を謙虚に受け止め、日本も10年ぐらいは、ユーバー杯や全英選手権大会などに目をつむって再起を期すがよいのではなかろうか。

いっそバドミントン協会役員、全国の指導者ともども丸ボウズになって、中国やヨーロッパに視察にでも行ったが賢明なのかもしれない。

バドミントンを楽しく

四谷健二郎
メディカルアドバイス

スポーツドリンクは〝魔法の水〟か

のどがかわいたときの〝一杯の水〟は格別だ。

大人であれば、汗を流したあとの一杯のビールということになる。

このところ、スポーツドリンクが大人気。ファッション商品という感さえある。

⊙もともと病人用のくすり

スポーツドリンクのアイデアは、病院や診療所で用いられる〝輸液〟がそのもとになっています。その代表的なものは、

生理食塩水
リンゲル液
ロック液

です。名前を聞いたことのある人もあるでしょうし、中にはこのごやっかいになって、生命の助かった人もいるはずです。

おっかないママか、やさしいママかは別として、「もっと牛乳を飲みなさい」「もっと野菜を食べなさい」と尻をたたかれる。

理由は二つある。

一つは、野菜に含まれる繊維が便通をよくすること、他の一つは、野菜や牛乳は「アルカリ食品」だから、体をアルカリ性にし、健康にいいから、というわけです。

酸性・アルカリ性は、水素イオン濃度のPHであらわす。PH7が中性。

この7より小さくなると酸性、大きくなるほどアルカリ性が強くなる。

人体にとってPHが重要なのが血液においてで、ふつう動脈血で測る。健康人では7・35から7・45、平均7・40が標準値。7・40といえば、わずかにアルカリ性です。

PHが酸性側にあると、これをアシドーシス、アルカリ側になるとアルカローシスといいます。

血液の中で何か滅り、何が増えるとPHが変わるのであろうか。

それは血液中にアルカリ物質、酸性物質があって調和をとっているからで、アルカリは重炭酸HCO、酸性は炭酸ガスCOが主役です。

血液1リットル中のミリモルという単位で表現し、重炭酸が炭酸ガスの二〇倍になるとPHは7・40に保たれる。一般に静脈の血液には炭酸ガスが多いので酸性側にかたむく。

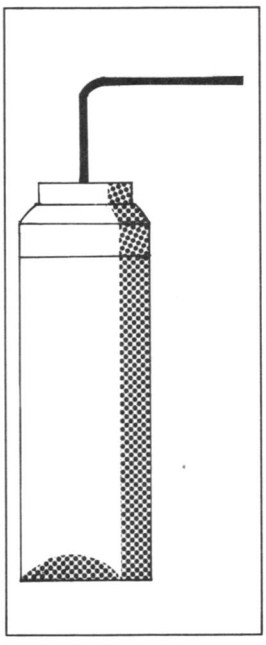
病気で入院したときに、血管に点滴をする場合がある。これが輸液である。そして、輸液の基本的なものが生理食塩液です。

生理食塩液を、世界ではじめて考えた人は、ケリカー（Kolliker）です。

彼は、カエルの筋肉は蒸留水の中ではすぐに死んでしまうのに、食塩0・5～1・0を含む液中では長く興奮を持続していることを実験的に証明したのです。

さて、外から血管を通して生理的に溶液を注入するとき必要な条件は、血液や体液と同じ種類のイオンをもっていることと、滲透圧がどの程度かということです。

静脈血には、炭酸ガスのほか、



硫酸、リン酸、乳酸、焦性ブドウ糖などの酸類が含まれる。そして、炭酸ガスは呼吸で肺から体の外に、他の酸類は腎臓で処理される。そこで、生理的な溶液にはこれらの物質がイオンの形で含まれることが望ましい。

生理的な溶液には、これらのイオンを含ませると、そのイオンが生体に対して、それぞれ特有の生理作用を現わすからだ。

薬の法律に日本薬局方がある。最初の日本薬局方は明治19年に出ており、現在は第19版です。これによると生理食塩液は、食塩の濃度が0・9W／V%の食塩液です。つまり、100cc.の中に9gの食塩が含まれる。

この生理食塩液も各国によって多少含まれる量に違いがあるのが面白い。ドイツ、イギリス、スイスは0・9%、アメリカは0・85%、フランスは0・8%、日本も以前は0・85%でした。

この生理食塩液より一歩生理的にすぐれたものがロック液、リンゲル液です。

ロック液は一八九五年Lookeという人がリンゲル液を改良してつくったものです。

リンゲル液も、リンガー（S. Ringer）という人がつくったのでその名がついています。リンゲル液は、食塩8g、塩化カリウム0・075g、塩化カルシウム0・134gを蒸留水500ccに溶かしてよく混ぜ、100度の蒸気で30分間滅菌してつくったものです。

ロック液には、このほかにブドウ糖や重曹が含まれている。

⊙スポーツドリンクとは

人間などのように体温が常に一定の動物と、カエルのような冷血動物では生理作用が違うのは当然です。そこで、リンゲル液の中に含まれる薬剤も多少ちがったものになります。

また、現在病院でつかわれる輸液は、さまざまな工夫が加えられ目的に添うように数多くのものが用意されています。

体力を回復するという意味では、ブドウ糖の5%液もいまでもよくつかわれます。

人間の体の60%は水分です。体重60キロの人なら36キロつまり36リットルをもっている計算です。このうち三分の二は細胞の中に、これを細胞内液という。

一方、細胞や組織内を満たしている水を組織間液といい、これは四分の一、残りが血液の中にある。

さて、はげしい運動をしたあとは大量の汗が出るが、人間、体重の7%以上の水を失うと脱水症状で生命は赤信号、1%を失うと死亡します。なにしろ一時間に2・5リットルの汗を出した記録もあるのだから。

そこで水の補給と相なるわけですが、わがスポーツ界では運動中は水ものむことをタブーとしている傾向がなくもない。

理由は、

胃腸に負担がかかる

体力を消耗する

というわけです。

ところで、のどがかわくのは体が水分を要求してのことと汗の項で説明しました。つまり、プレー中でも適度の水分補給は必要なのです。

飲んだ水は大腸で吸収されますが、この際、ただの水より体液に近い浸透圧をもった水の方が吸収が早いということがようやくはっきりしてきたのです。

医療用の目的につかわれるリンゲル液、ロック液などいずれも浸透圧が工夫されており、目薬なども涙液と等張になっているのです。

そこで、スポーツ飲料といわれるものも、いずれも、ナトリウム、カリウムなどを加えて体液の浸透圧に近づけています。

このスポーツ飲料の本家はアメリカです。アメリカの実験では、水をのんで30分たつとその量の半分しか吸収されないが体液と浸透圧が等しく調整された水は、二～三分で飲んだ量の半分が吸収されて血液の中に入るというのです。

日本でも同じような実験がありますが、それによると、ただの水とスポーツ飲料の吸収の差は二倍から三倍だという。

⊙はたして効果があるのか

たしかに生理的に理にかなっているのがスポーツ飲料です。だが、一方では、体に吸収される水分が時間的に早いというだけで、冷たい水を体の芯に入れることで、運動の結果、異常に高くなった体温を下げることの方が大きいのではないかとの考えもあるのです。

現在のスポーツ飲料は、スポーツウェアよろしく、ファッション主導型、見た目に「カッコイイ」ということもあるのかも。コインを入れて、ドスンと出てくるジュース、コーラなどの炭酸清涼飲料水……。

このほか、さまざまな飲物がありますが、これらのものはここでいう「スポーツ用の飲料」ではありません。別のものです。

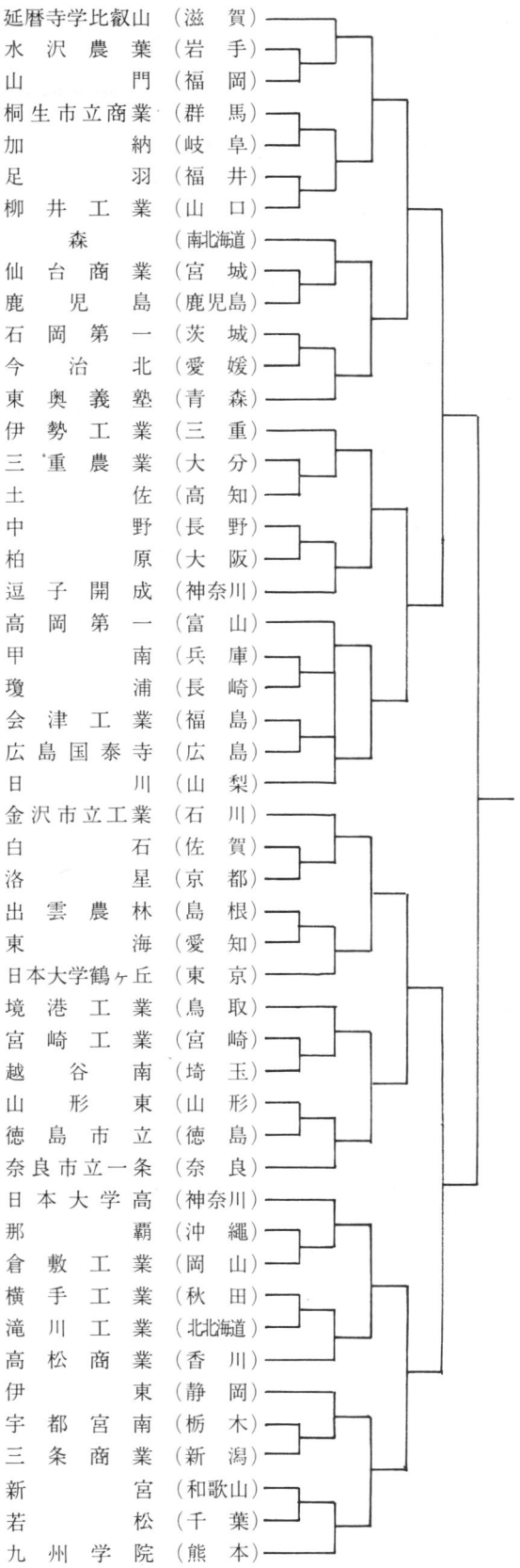
あなたのお友達をみてごらんなさい。これらの飲物をよく飲む人は必ず、まるまる太っているから。なぜなら、砂糖水を飲んでいるのとかわらないからです。

さあ！インターハイ

比叡山と熊本中央の連覇をはばむのは！

久しぶり関東にも大物の男子 女子は例年になくハイレベル

組み合わせ決まる



さあ、いよいよインターハイのシーズンがやって来た。

第32回全国高等学校総合体育大会は、8月1日より神奈川県で開催されるが、その組み合わせが決定した。

〝当たるも八卦、当たらぬも八卦〟とは的を得た言葉かも知れないが、とにかくここに各種目の予想を展開してみたいと思う。

まず男子団体であるが、今年は関東にも関西にも粒揃いの好チームが、紙一重でひしめいており、まったく予断を許さない状態だ。

春の高校選抜で優勝した比叡山（滋賀）が頭一つリードしているように見えるが、第1シードの期待に応えられるかは疑問といえる。

確かに実績もあり、メンバーに穴がないのは強味といえるのだが、エースのいない弱味も同居している。

優勝候補の一番手には違いないが、二番手グループとの差はごく僅かである。

その二番手グループには、金沢市立工（石川）、日川（山梨）、九州学院（熊本）、東奥義塾（青森）、奈良一条（奈良）などが挙げられる。

ほかにも、選抜3位の伊勢工（三重）、地元の日大高（神奈川）も虎視耽々と賜杯を狙ってまれにみる混戦、比叡山を廻るこの七校の争いとなりそうだ。

女子団体は、近来にない高レベルの試合が見られそう。

高校生で初めてユーバー杯メンバーに選ばれた陣内を擁する熊本中央女（熊本）、選抜の覇者・高岡女子（富山）、関東からは小山城南（栃木）、もちろん新潟青陵（新潟）は今年こそはと意気込んでいるだろう。

そして、昨年の雪辱を果たそうと、四条畷（大阪）の目が不気味に光っている。

いずれにしても、エースの起用方法が波乱を呼ぶ大きなカギになりそうな気がする。

＊　＊　＊　＊

個人戦に目を移すと、男子シングルスは松野（日川）、豊田（日大高）の関西同士の決戦が予想される。

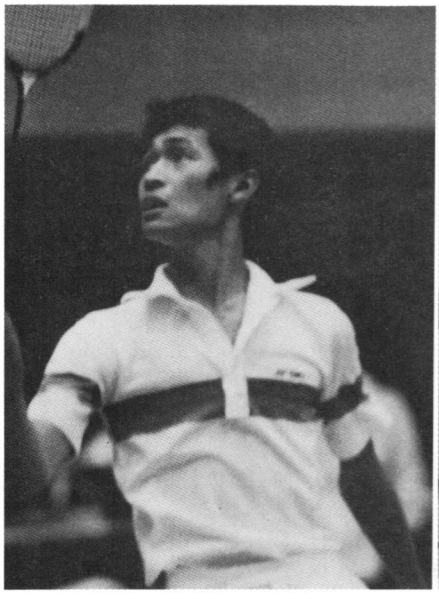
長身の松浦（草津・滋賀）も波に乗るとうるさい存在。

伏兵には丸山（三条商）、村松（金沢市立工）、伊東（九州学院）、戸崎（岐阜工）、そして1年生で出場する昨年の中学チャンピオン見市（奈良一条）がどこまでくい下がるか、見どころの一つといえよう。

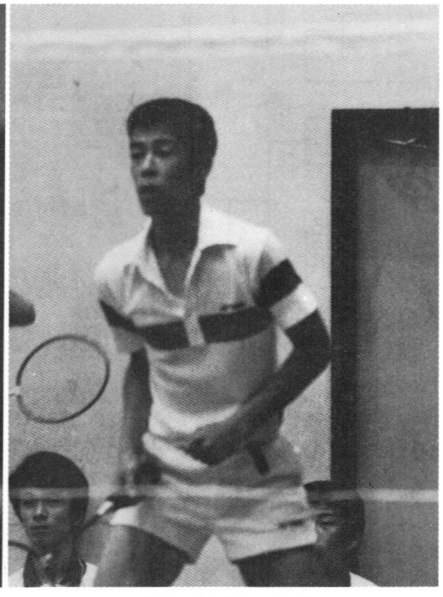
男子ダブルスは、松野、宮組（日川）の独壇場か。

昨年も、堂々とベスト4入りを果たしており、順当ならこのペアの優勝は不動と思える。

このペアを脅やかすとすれば、



豊田（神奈川・日大）



松野（山梨・日川）



陣内（熊本中央）

男子単は松野と豊田が有力。女子は大本命・陣内を巡るシ烈な闘い！

羽田・村松組（金沢市立工）、吉弘・東組（熊商大付）、佐々木・葛西組（東奥義塾）、片岡・辻田組（比叡山）といったところか。

面白いところでは、前田・斉藤組（足羽）、福田・伊藤組（九州学院）、早坂・鈴木組（山形市商）らも力があるだけに台風の目となるかも知れない。

女子シングルスは、何といっても陣内（熊本中央女）が大本命なのだが、昨年のインターハイの上位組がかなりおり、陣内もうかうかはできない。

ざっと挙げるだけでも、第2シードの山内（高松中央）、第3シードの田向（高岡女子）、選抜優勝の平間、これに優るとも劣らぬ実力を持った山内（新潟青陵）、小池（千葉学園）、松田（四条畷）、森山（熊本信愛）、屋代（横浜女商）、橋本（千葉学園）と、キラ星のごとく好選手がひしめいている。

陣内も、この中から3人を倒さなければならず、絶対とはいい難い面がある。

女子ダブルスは、春の実績からすると、伝統の強味を持つ山内・石崎組（新潟青陵）が一歩リードした形。

しかし、陣内・井村組（熊本中央女）、森山・三由組（熊本信愛）の熊本勢も黙っていはいないはずだが……。

しかし、各種目とも成長の激しい高校生の大会だけに、無名の選手の台頭も十分に考えられる。

〝酷暑〟を吹き飛ばす熱戦を期待したいものだ。



IBFコンピュータランキング発表

日本女子は上位進出
男子はハルトノが1位

——11大会をインプット——

IBF（国際バドミントン連盟）は去る6月、男女の公式コンピュータ・ランキングを発表した。

これは昨年ジャカルタで開かれた世界選手権から、今年の全英選手権まで11大会の成績をインプットして作成されたものである。

IBFではWBFと統合が成立したこともあり、来期はもっと数多くの大会の成績を材料にする意向だといっている。

日本選手では、女子はベスト20に6人が入っており、男子は土田と銭谷がランクされている。

★IBFコンピュータ・ランキング

	◎男　子	◎女　子
1	ルディ・ハルトノ（インドネシア）	黄善愛（韓国）
2	リム・スイ・キン（インドネシア）	リーン・コーペン（デンマーク）
3	ルイス・ポンゴ（インドネシア）	イバナ・リ・イン・ホー（インドネシア）
4	モルテン・フロスト・ハンセン（デンマーク）	ベラワティ・ウィハルジョ（インドネシア）
5	R・ハディヤント（インドネシア）	徳田敦子（日本）
6	プラカシュ・パデュコーン（インド）	近藤小織（日本）
7	クルニアウ・チョイカイキ（インドネシア）	湯本博恵（日本）
8	トーマス・キールストロム（スウェーデン）	ギリアン・ギルクス（イングランド）
9	ニック・イエーツ（イングランド）	ウェンディ・カーター（カナダ）
10	フレミング・デルフス（デンマーク）	ジェーン・ウェブスター（イングランド）
11	ケビン・ジョリー（イングランド）	米倉よし子（日本）
12	レイ・スティブンス（イングランド）	金錬子（韓国）
13	ダニー・サルティカ（インドネシア）	タティ・スミラ（インドネシア）
14	シェド・モディ（インド）	サリー・レッドビーター（イングランド）
15	ロイ・ディアス・ゴンザレス（メキシコ） ミズブン・シデク（マレーシア）	キルステン・ラーセン（デンマーク）
16		北田スミ子（日本）
17	ステーン・フラッドベリ（デンマーク）	カレン・ブリッジ（イングランド）
18	土田証雄（日本）	ヘレン・トローク（イングランド）
19	銭谷欽治（日本）	東海林文子（日本）
20	ポール・ペテルセン（デンマーク）	ネッテ・ニールセン（デンマーク）

'81オリジナルTシャツ 好評発売中!!

★特価　１５００円
サイズ(S・M・L)

〈送　料〉
１枚＝240円
３枚まで350円
４枚以上７枚まで（小包料金）＝第１地帯・(市内)400円、(その他)500円、第２地帯・650円、第３地帯・800円
７枚以上14枚まで＝第１地帯・(市内)460円、(その他)580円、第２地帯・730円、第３地帯・880円

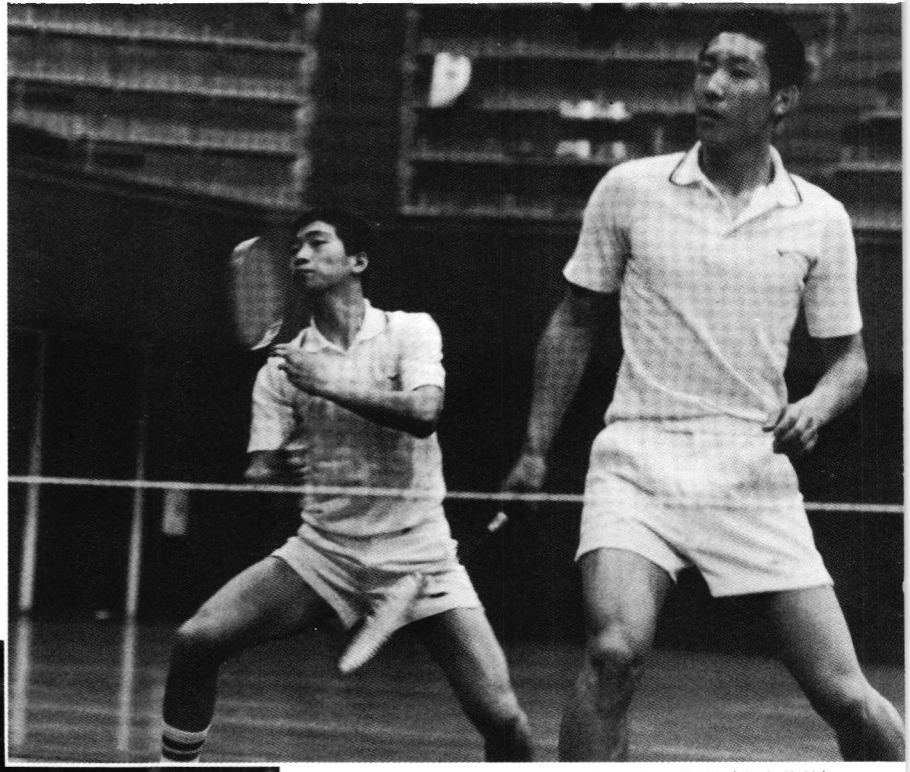


「バドミントン界」のオリジナルTシャツができました。
白地に赤一色で、「バドミントン界」のマークと、Guts & Fair Play の文字をミックスしたものです。
定価は1500円ですが、上記の送料をプラスして、巻末とじ込みの振替用紙に枚数とサイズを明記のうえ、お近くの郵便局からお申し込みください。　バドミントン界編集部

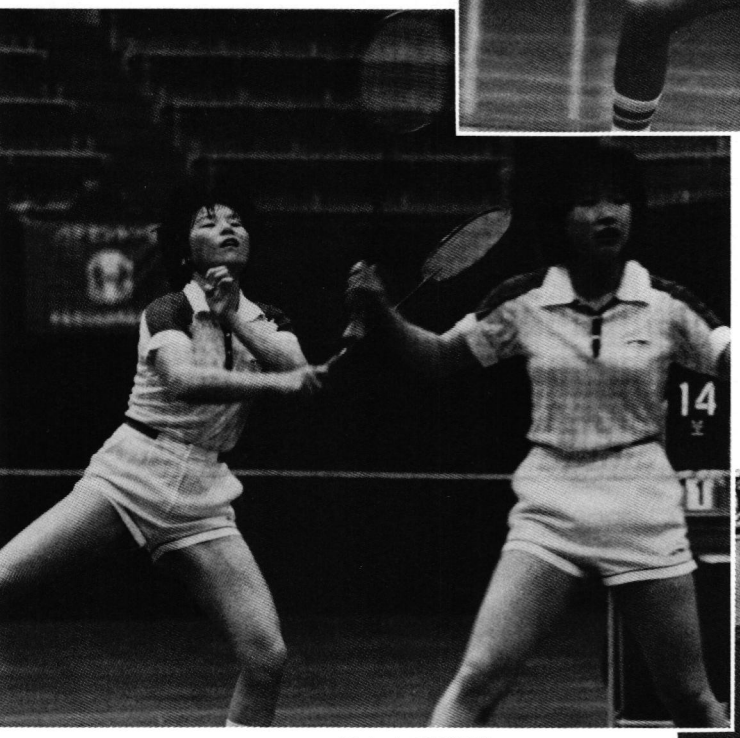
バドミントン界　The Badminton World
1981年７月号　©1981　通巻第141号
写真植字／サカキバラ写植，創研
印刷・製本／根岸印刷

◇本誌の記事・写真等を許可なく転載・複写することを禁じます

定価＝300円　１年間予約購読料＝3000円(送料共)
振替＝東京8－10737
昭和56年７月15日発行
編集兼発行人／赤星三樹
発行所／赤星出版株式会社
東京都目黒区鷹番２－８－22－205　〒152
☎03－712－6952

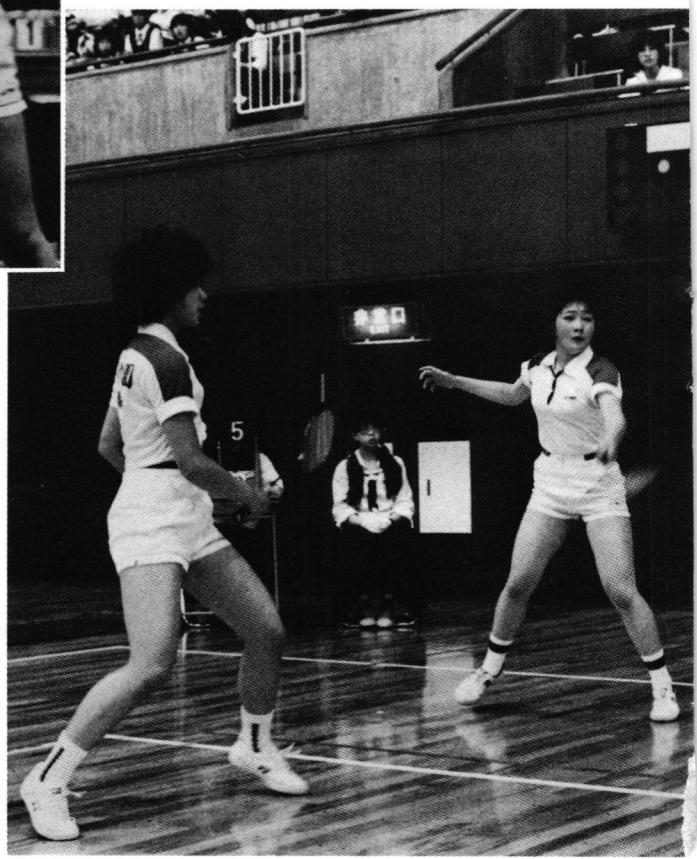


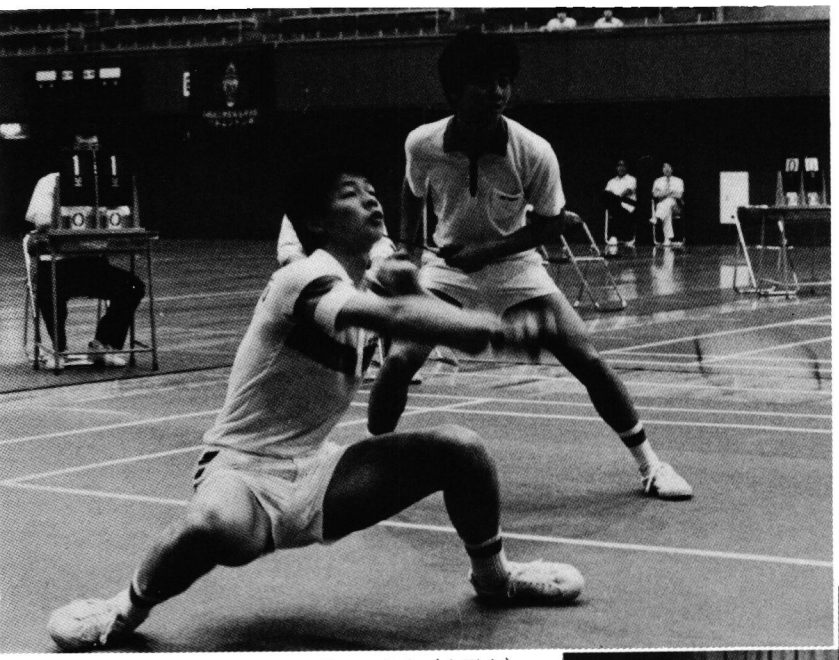
勝負強さナンバーｌの佐々木・葛西（東奥義塾）



独壇場の強さ、小池・橋本（千葉学園）

ｌ年生ペアとしては上々の準優勝、北本・弓削（千葉学園）

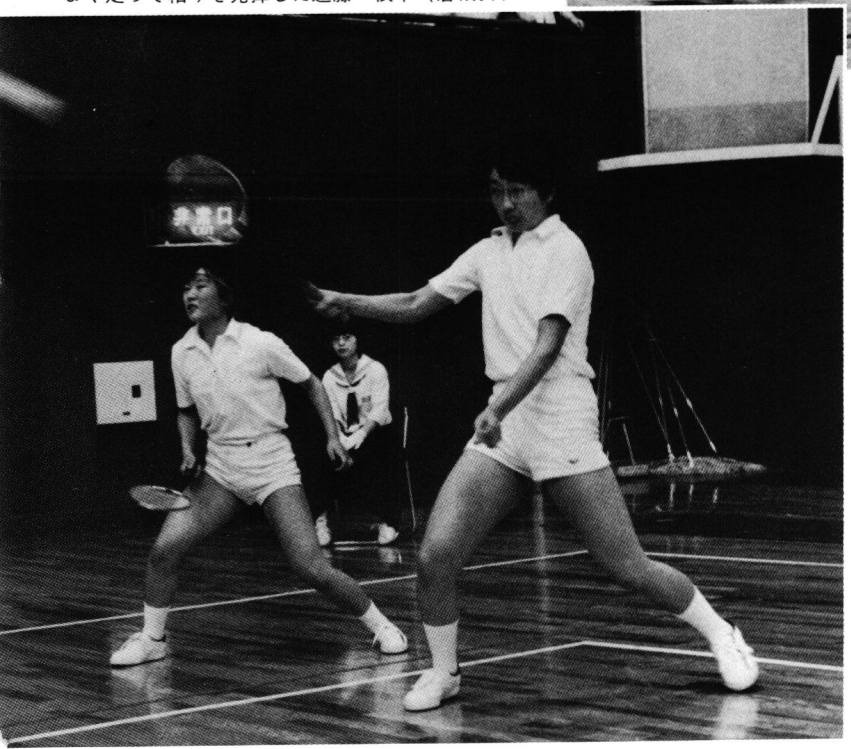




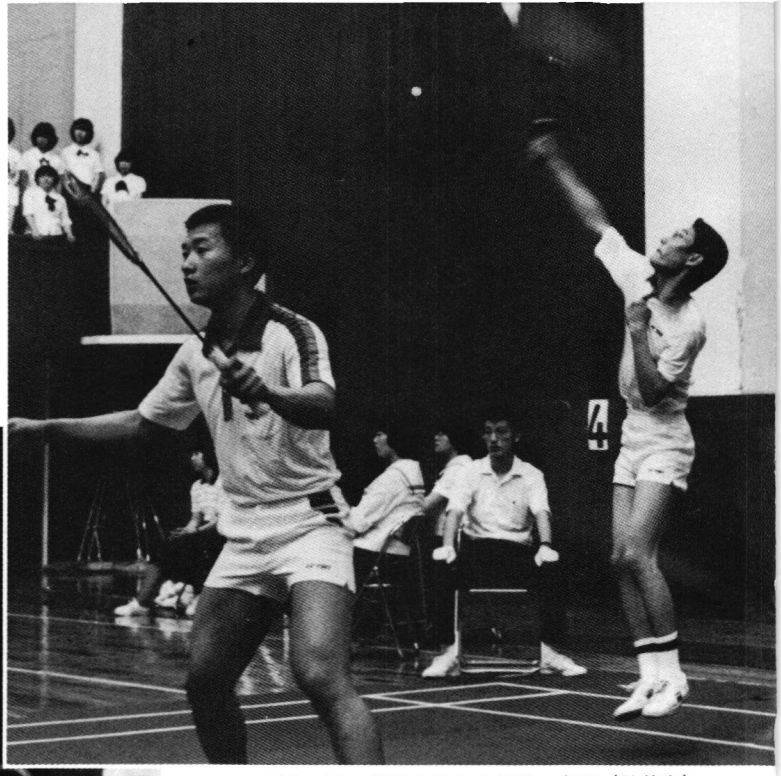
荒削りだが魅力たっぷり、早坂・鈴木（山形商）



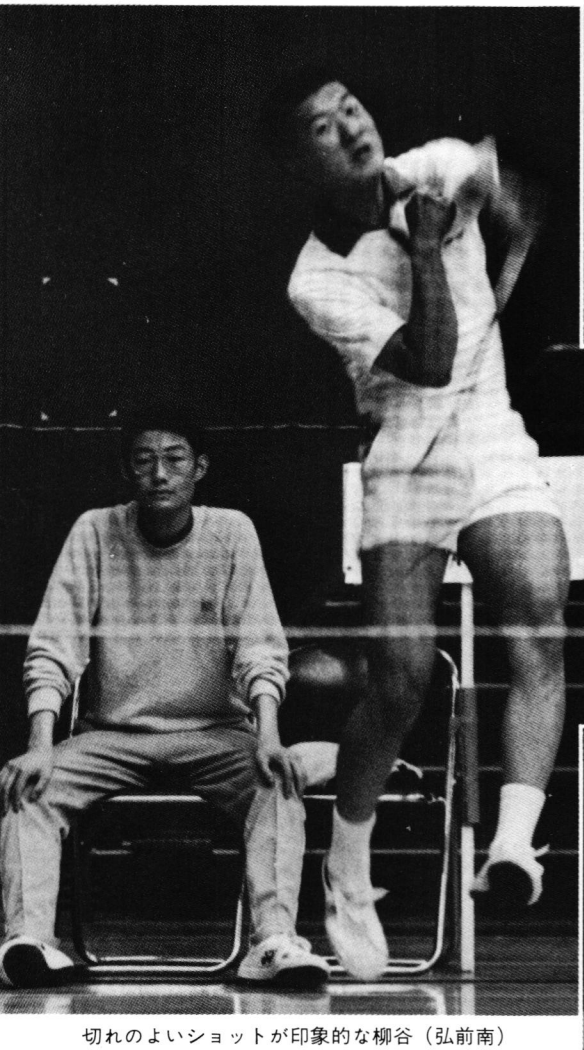
強敵を倒してのベスト４は立派、
五十嵐・渡辺（新庄南）



よく走って粘りを発揮した遠藤・根本（磐城女）

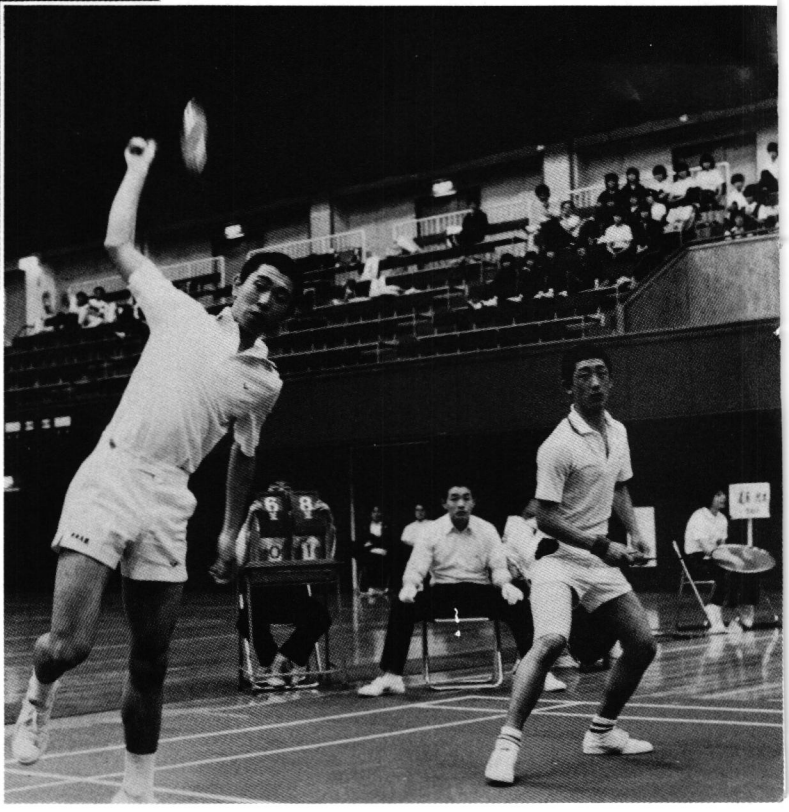


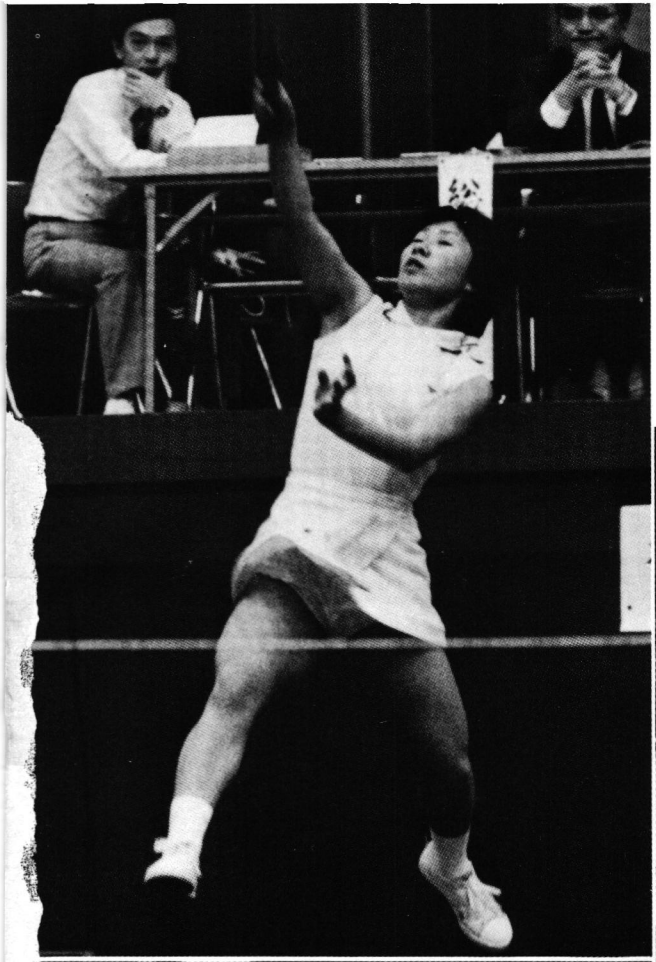
尻上がりに調子を出した柳谷・条田（弘前南）



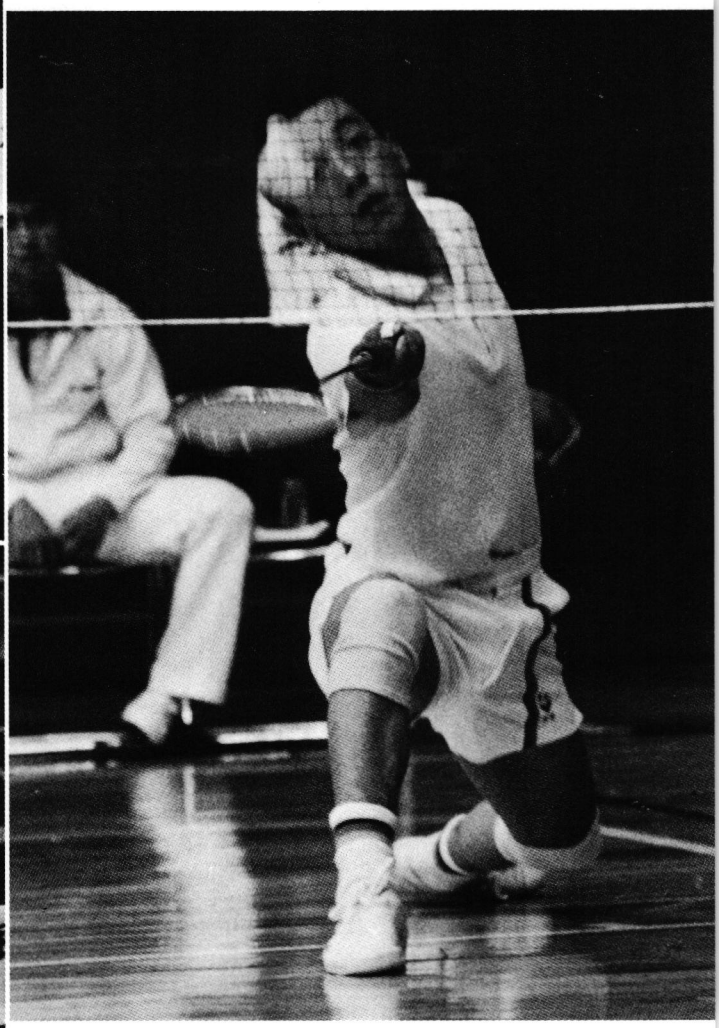
切れのよいショットが印象的な柳谷（弘前南）

東奥義塾の層の厚さを見せた小坂・高橋





小さな体をいっぱいに使った木村（黒石）



あと一歩で決勝進出だった尾崎（東奥義塾）



変則だがそれが持ち味の野村（聖愛）



DÉFI

イタリアからColor Liberation最新版の到着。

新鮮デフィ、新発売。

正統コットンホワイトのぼく。ところが、きょうのパートナーは、イタリアから新着のデフィのポロ。伝統の優れた機能性に、ファッショナブルなイタリアンフィーリングをコーディネイトしたNewデフィとは！ 鮮やかなイタリアンカラーが、ときにローマの華麗となって、ときにフィレンツェの繊細となって、コートを舞った。きみは、コートのウィナーになる前に、恋のウィナーになってしまうぞ。

kawasaki
カワサキラケット株式会社

月刊「バドミントン界」7月号昭和56年7月15日発行　昭和55年10月9日第三種郵便物認可
編集兼発行人／赤星三樹・発行所／東京都目黒区鷹番2—8—22—205・赤星出版株式会社　電話03—712—6952　〒152　定価／300円

カワサキラケット株式会社

しなやかなパワーが世界をうならせる。



バトミントンの女王
VERAWATI WIHARYO
ベラワティ・ウィハルジョ
1980年第2回世界選手権
女子シングルス優勝

独得のグラファイトシャフトは、復元力を限りなく高め、スピードの限界に挑むプレーに適確に応えます。シャフトが強化されて、しかも軽さを徹底的に追求。カラーも鮮やかなRed, Green, Yellowの3色。今、エイトファイブは日本を越えて世界のトッププレーヤーの期待に応えます。

素材：グラファイトシャフト/高力アルミ合金フレーム　カラー：レッド/グリーン/イエロー(ケース付)　フレーム価格：9,500円

B-85
エイトファイブ



新製品

Nice Day with Racket
kawasaki

本　社：〒130東京都墨田区両国1-10-6 TEL(03)633-7211(大代)
大阪支店：〒550大阪市西区阿波座1-10-6 TEL(06)533-0521(代表)